

操作ガイド

LGデジタルサイネージ (モニターサイネージ)

セットを操作する前にこのマニュアルを注意深く読み、将来の参照のために保管してください。

webOS 3.0

目次

ユーザー設定 3

- メインメニュー設定 3
- 画像設定
- サウンド設定
- ネットワーク設定
- 一般設定

エンターテインメント 15

- マルチメディア機能の使用 15
- USB / SDストレージデバイスの接続
- 写真とビデオ 18
- サポートされている写真および動画ファイル
- 写真とビデオの表示
- 定期演奏
- 輸出する
- 削除する
- 音楽 22
- サポートされている音楽ファイル
- 音楽を演奏
- 削除する
- SuperSignコンテンツ 23
- 情報 23
- ローカルコンテンツスケジューラ 24
- スケジュール再生の設定
- 画面共有 25
- WiDi (Wireless Display) の設定
- グループマネージャー 26
- レベラーツール 28
- コントロールマネージャー 29
- 使用方法
- アクセス時にセキュリティ証明書に問題が発生した場合は、次の手順を実行します。
- マルチスクリーン 34
- 画像ID設定 35

IRコード 36

複数の製品を制御するには 38

- ケーブルを接続する 38
- 通信パラメーター 39
- コマンドリファレンスリスト 40
- 送受信プロトコル 44

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPL 及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は<http://opensource.lge.com/> のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンスの内容、保証免責の内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社はお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensource@lge.com。

このお申し込みは、LG Electronicsにて本製品を販売後3年にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。本サービスは、本情報を受け取られた方どなたでもご利用いただけます。

！ ヒント

- ・ソフトウェア関連の内容は、製品機能のアップグレードにより、予告なく変更される場合があります。
- ・ユーザーガイドに記載されている一部の機能は、特定のモデルではサポートされていない場合があります。
- ・本製品はSNMP2.0*をサポートしています。(*SNMP: Simple Network Management Protocol)

ユーザー設定

メインメニュー設定

画像設定

画像モードを選択するには

SETTINGS /  →  → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]

ビデオの種類に最適な画像モードを選択します。

- ・[あざやか]: コントラスト、明るさ、シャープネスを強化することにより、小売環境のビデオ画像を調整します。
- ・[標準]: 通常的环境に合わせてビデオ画像を調整します。
- ・[自動電源保存]: 自動電源保存モードは、調光制御により消費電力を削減します。
- ・[シネマ]: 映画を見るためにビデオ画像を最適化します。
- ・[スポーツ]: スポーツ観戦用にビデオ画像を最適化します。ボールを蹴ったり投げたりするような速い動作でさえ、画面上にはっきりと表示されます。
- ・[ゲーム]: ビデオゲームをプレイするためにビデオ画像を最適化します。
- ・[フォト]: 写真を表示するために画面を最適化します。(この機能は特定のモデルでのみ使用可能です。)
- ・[シネマ] / [補正]: 専門家、または高品質の写真に興味のある人は、最高の画質に手動で画像を調整できます。

！ ヒント

- ・入力信号に応じて、使用可能な画像モードは異なる場合があります。
- ・[シネマ]は、映像品質の上級者が特定の映像を使用して画質を微調整できるオプションです。一般的な映像では効果が感じられない場合があります。

画像モードを微調整するには

SETTINGS /  →  → [映像] → [映像モードの設定] → [カスタマイズ]

- [バックライト] / [OLED輝度]: LCD/バックライトを制御して、画面の明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [コントラスト]: 画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。値が100に近づくほど、差が大きくなります。
- [明るさ]: 画面全体の明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]: オブジェクトのエッジのシャープネスを調整します。値が50に近いほど、エッジはより鮮明になります。
- [水平シャープネス]: 画面上のコントラストエッジのシャープネスを水平方向の視点から調整します。
- [垂直シャープネス]: 垂直方向の視点から、画面上のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [色]: 画面の色合いを柔らかくまたは深くします。値が100に近いほど、色は濃くなります。
- [色合い]: 画面に表示される赤と緑のレベルのバランスを調整します。値が赤50に近いほど、赤の色は濃くなり、値が緑50に近いほど、緑の色は濃くなります。
- [色温度]: 画面の色合いを調整して、暖かさや冷たさを感じさせます。
- [詳細設定] / [プロ設定]: 詳細オプションをカスタマイズします。
 - [ダイナミックコントラスト]: 画像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を最適化します。
 - [超解像]: 画像のぼやけた部分や見分けがつかない部分をシャープにします。
 - [色域]: 表示する色の範囲を選択します。
 - [ダイナミックカラー]: 画像の色合いと彩度を調整して、より鮮やかで生き生きとした表示にします。
 - [輪郭補正]: 画像にはるかにシャープで鮮明なエッジを提供します。
 - [カラーフィルター]: RGBスペースの特定の色領域をフィルタリングすることにより、色と色合いを正確に調整します。
 - [色補正]: 肌の色合い、草の色合い、空の色合いを好みに合わせて調整します。
 - [ガンマ]: 画像の中間の明るさを調整します。
 - [ホワイトバランス]: 画像の全体的な色合いを好みに合わせて調整します。[エキスパート]モードでは、[方式]または[パターン]を使用して映像を微調整できます。
 - [カラーマネージメント]: テストパターンを使用して色の濃さを調整する際に、カラーマネージメントシステムを使用します。カラーマネージメントシステムは、他の色に影響を及ぼすことなく、6種類の色(赤/黄/青/シアン/マゼンタ/緑)それぞれを調整できます。通常の画像では、調整しても色合いが変化しない場合があります。

- ・[映像オプション]: 映像オプションをカスタマイズします。
 - [ピクチャーノイズリダクション]: 不規則に生成された小さなドットを削除して、鮮明な画像にします。
 - [MPEGノイズリダクション]: デジタルビデオ信号の作成中に発生するノイズを低減します。
 - [黒レベル]: 画像の黒レベルを調整して、画像の明るさとコントラストを修正します。(入力信号に応じた推奨設定: RGB 0-255: High, RGB 16-235: Low, YCbCr: Low)
 - [リアルシネマ]: 映画のような外観にビデオ画像を最適化します。
 - [アイケア]: 表示された画像に基づいて輝度レベルを調整し、ぼやけを軽減することにより、目の疲労を軽減します。(特定のモデルにのみ適用されます。)
 - [LED部分制御]: 画像の明るい部分をより明るく、暗い部分をより暗くしてコントラストを最大にします。zこの機能をオフにすると電力消費が増大することがあります。(特定のモデルにのみ適用されます。)
 - [TruMotion]: 動画で発生する可能性のある画像の揺れや焼き付きを軽減します。
- ・[初期化]: 映像設定を初期化します。映像設定は映像モードごとに初期化されるので、初期化する映像モードを選択してから実行してください。

❗ ヒント

- ・[ユーザー設定]モードでのみ詳細設定を調整できます。
- ・入力信号または選択した映像モードに応じて、使用可能なオプションは異なる場合があります。

アスペクト比を設定するには

(一部の機能は特定のモデルでサポートされていない場合があります。)

SETTINGS / **→ [映像] → [画面サイズ]**

アスペクト比を変更して、画像を最適なサイズで表示します。

- ・[16:9]: 16:9のアスペクト比で画像を表示します。
- ・[スキャンのみ]: 画像を元のサイズで表示し、エッジを切り取りません。オリジナルはHDMI (720p以上) モードで利用可能です。(58:9モデルでは、このオプションは入力信号に関係なく選択できます。)
- ・[オリジナル]: 入力ビデオ信号に応じて、アスペクト比を自動的に4:3または16:9に変更します。
- ・[4:3]: アスペクト比4:3で画像を表示します。
- ・[58:9]: 画面を58:9のアスペクト比で表示します。
- ・[垂直方向にズーム]: 表示された画像の高さと垂直位置を調整します。
- ・[全方向にズーム]: 表示画像の水平/垂直/対角寸法と水平/垂直位置を調整します。

⚠ 注意

- ・固定画像が長時間画面に表示されると、その画像が刷り込まれ、画面に永久的な外観を損なうことになります。このイメージの焼き付けまたは焼き付きは保証の対象外です。
- ・長時間アスペクト比を[4:3]に設定すると、画面のレターボックス領域で画像の焼き付きが発生する場合があります。
- ・オプションは、モデルによって異なる場合があります。
- ・入力信号に応じて、使用可能なアスペクト比は異なる場合があります。
- ・[垂直方向にズーム]または[全方向にズーム]を調整すると、入力信号によって画面がちらつくことがあります。

省エネ機能を使用するには

SETTINGS /  →  → [映像] → [映像省エネ設定]

画面のピーク輝度を調整することにより、消費電力を削減します。

- ・ [自動]: 環境光に応じてモニターの明るさを調整します。(この機能は特定のモデルでのみ使用可能です。)
- ・ [オフ]: 省エネモードを無効にします。
- ・ [最小] / [中] / [最大]: モニターに指定された省エネレベルに従って省エネを使用します。
- ・ [映像オフ]: 画面をオフにします。音声のみが聞こえます。リモコンのPower(電源)ボタン以外のボタンを押すと、画面が点灯します。

！ ヒント

- ・ [管理者] > [初期設定にリセット] または [管理者] > [工場初期化] をクリックして、デフォルト設定に戻します。

スマート省エネ機能を使用するには

(特定のモデルにのみ適用されます。)

SETTINGS /  →  → [映像] → [スマート省エネモード]

画像の輝度に応じて、モニターの輝度はエネルギーを節約するために自動的に調整されます。

- ・ [オフ]: スマート省エネ機能を無効にします。
- ・ [オン]: スマート省エネ機能を有効にします。

！ ヒント

- ・ [管理者] > [初期設定にリセット] または [管理者] > [工場初期化] をクリックして、デフォルト設定に戻します。

OLEDディスプレイの構成

(OLEDモデルのみ)

SETTINGS /  →  → [映像] → [OLEDパネルの設定]

- ・ [パネルノイズクリア]: 画面を長時間オンにしたときに発生する可能性のある問題を修正します。

SCREEN (RGB-PC) 機能を使用するには

(特定のモデルにのみ適用されます。)

SETTINGS /  →  → [画像] → [画面 (RGB-PC)]

RGBモードでPCディスプレイオプションをカスタマイズします。

- ・ [自動で設定]: 画面の位置、クロック、および位相を自動的に調整するように設定します。設定の進行中、表示される画像は数秒間不安定になる場合があります。
- ・ [解像度]: 適切な解像度を選択します。
- ・ [位置] / [サイズ] / [フェーズ]: 自動構成の後、画像がはっきりしていない場合、特に文字が不安定な場合にオプションを調整します。
- ・ [初期化]: オプションをデフォルト設定に復元します。

サウンド設定

- 特定のモデルにのみ適用されます。

サウンドモードを選択するには

SETTINGS / 設定 → ⓘ → [音声] → [サウンドモード]

視聴中のコンテンツのジャンルに応じて、自動的に適した音質が選択されます。

- [標準]:あらゆるジャンルに適した音質で出力します。
- [シネマ]:映画鑑賞用にサウンドを最適化します。
- [クリアボイスIII]:音声により明瞭に聞こえるように音声を強化します。
- [スポーツ]:スポーツ観戦用にサウンドを最適化します。
- [音楽]:音楽を聴くためにサウンドを最適化します。
- [ゲーム]:ビデオゲームをプレイするためにサウンドを最適化します。

サウンドエフェクト機能を使用するには

SETTINGS / 設定 → ⓘ → [音声] → [サウンドモードの設定]

- [イコライザー]:周波数帯域ごとにそれぞれ音量を調整して、好みの音質に調整できます。
- [バランス]:左右のスピーカーの音量のバランスを調整できます。
- [初期化]:サウンド設定をリセットします。

音声出力デバイスの選択

SETTINGS /  →  → [音声] → [スピーカー設定]

- ・ [サイネージスピーカー]: サイネージモニターの内蔵スピーカーから音声を出力できます。この機能は、サイネージスピーカーが内蔵されているモデルでのみ使用できます。
- ・ [LGサウンドシンク / Bluetoothデバイス]: BluetoothオーディオデバイスまたはBluetoothヘッドセットをワイヤレスで接続して、サイネージモニターからの豊かなサウンドを便利に楽しむことができます。

！ ヒント

- ・ デバイスによっては、モニターの電源をオンにしたときに自動的に再接続を試みます。
- ・ LGサウンドシンクをサポートしているLGオーディオデバイスは、接続する前にLGTVモードまたはLGサウンドシンクモードに設定することをお勧めします。
- ・ この機能は特定のモデルでのみ利用可能です。
- ・ [デバイスの選択]を押して、接続されているデバイスまたは接続可能なデバイスを表示し、他のデバイスを接続します。
- ・ モニターのリモコンで接続されているデバイスの音量を調整できます。
- ・ オーディオデバイスを接続できない場合は、オーディオデバイスの電源がオンになっているか、接続可能な状態になっているか確認してください。
- ・ Bluetoothデバイスの種類によっては、デバイスが正しく接続されなかったり、ビデオやオーディオの同期がとれていないなどの誤動作が発生する場合があります。
- ・ 次の場合、音声途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
 - Bluetoothデバイスがサイネージモニターから遠すぎます。
 - Bluetoothデバイスとサイネージモニターの間に障害物がある。
 - 電子レンジや無線LANルーターなどの他の無線デバイスの近くでデバイスを使用している。

ボリューム増加率を選択するには、

SETTINGS /  →  → [音声] → [音量設定] → [音量調整単位]

低/中/高のいずれかを選択して、音量範囲を設定できます。

オーディオをビデオと同期するには

SETTINGS /  →  → [音声] → [AVシンク]

- ・ [サイネージスピーカー]: デジタルオーディオ出力ポート、LGオーディオ機器、ヘッドフォンなどに接続されている外部スピーカーからのビデオとオーディオの同期を調整します。デフォルト値から、値が-に近いほど、サウンド出力は速くなり、値が+に近いほど、サウンド出力は遅くなります。
- ・ [Bypass]: 遅延なく外部デバイスから送られてくるオーディオ。モニターは映像にエフェクト処理を行うと映像信号に遅延が発生する場合があるので、音声に先に出力される場合があります。

ネットワーク設定

サイネージモニター名を設定するには

SETTINGS /  →  → [ネットワーク] → [サイネージ名]

スクリーンキーボードを使用して、ネットワークで使用されるSignage Monitorの名前を設定できます。

有線ネットワークを設定するには

SETTINGS /  →  → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]

- 有線ネットワークへの接続: LANポートを介してモニターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続し、ネットワーク設定を構成します。有線ネットワーク接続のみサポートされています。物理的接続の確立後、一部のネットワークで、ディスプレイのネットワーク設定の調整が必要になる場合があります。大半のネットワークでは、調整なしで自動的にディスプレイの接続が確立されます。詳細については、インターネットプロバイダーに問い合わせるか、ルーターのマニュアルを参照してください。

ワイヤレスネットワークを設定する

(特定のモデルにのみ適用されます。)

SETTINGS /  →  → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

ワイヤレスネットワーク用にモニターを設定している場合は、使用可能なワイヤレスインターネットネットワークを確認して接続できます。

- [非表示の無線ネットワークを追加]: ネットワークの名前を直接入力した場合、ワイヤレスネットワークを追加できます。
- [WPS PBS接続]: PBCをサポートしている無線ルーターのボタンを押して、ルーターに簡単に接続できます。
- [WPS-PINコード接続]: PINをサポートするワイヤレスルーターのWebページにPIN番号を入力して、簡単な方法でルーターに接続します。
- [無線ネットワーク接続の詳細設定]: 手動でネットワーク情報を入力して、無線ネットワークに接続します。使用できる無線ネットワークが表示されない場合は、[無線ネットワーク接続の詳細設定]を選択すれば、ネットワークを追加できるようになります。

！ ヒント

- Wi-Fi Dongleがサポートされているモデルでは、Wi-Fi Dongleを本製品に接続しているときのみ、[無線ネットワーク接続]メニューを使用できます。
- IPv6対応のネットワークに接続すると、有線/無線ネットワークでIPv4またはIPv6を選択できます。ただし、IPv6接続は自動接続にのみ対応しています。

SoftAPのセットアップ

(特定のモデルにのみ適用されます。)

SETTINGS /  →  → [ネットワーク] → [SoftAP]

このモニターをアクセスポイントにして、無線ルーターがなくても他のデバイスをこのモニターにWi-Fi接続させて、無線でのインターネットを使用できるようにします。

- SIGNAGEを使用するには、インターネット接続する必要があります。
- SoftAP機能と画面共有機能を同時に使用することはできません。
- Wi-Fi Dongleがサポートされているモデルでは、Wi-Fi Dongleを本製品に接続しているときのみ、SoftAPメニューを使用できます。
- SoftAP接続情報
 - SSID: 無線インターネット接続に必要な固有の識別子
 - セキュリティキー: 目的の無線ネットワークに接続するために入力するセキュリティキー
 - 接続デバイスの数: 無線ネットワーク接続でサイネージデバイスに接続されているデバイスの数を表示します。最大10個のデバイスまでサポートされています。

ネットワーク設定のヒント

- このモニターを有線接続する場合は、標準的なLANケーブル(RJ45のカテゴリー5以上)を使用してください。
- 多くの場合、セットアップ中のネットワーク接続の問題は、ルーターまたはモデムを再設定することで解決できます。ディスプレイをホームネットワークに接続した後、ホームネットワークルーターまたはケーブルモデムの電源ケーブルをすぐに電源オフおよび/または切断し、電源をオンにし、電源ケーブルを再接続します。
- インターネットサービスプロバイダー (ISP) によっては、インターネットサービスを受信できるデバイスの数が、該当するサービス条件によって制限される場合があります。詳細については、ISPに問い合わせてください。
- LGは、インターネット接続または他の接続機器に関連する通信エラー/機能不全によるディスプレイおよび/またはインターネット接続機能の誤動作については責任を負いません。
- LGは、インターネット接続の問題について責任を負いません。
- ネットワークの回線速度がコンテンツの動作に必要な速度を満たしていない場合、コンテンツが正常に動作しない場合があります。
- インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダー (ISP) によって設定された特定の制限により、一部のインターネット接続操作ができない場合があります。
- ISPにかかる費用(接続料またはそれ以外の費用)は、お客様がご負担ください。

！ ヒント

- ・ディスプレイでインターネットに直接アクセスする場合は、インターネット接続が常にオンになっている必要があります。
- ・インターネットに接続できない場合は、同一のネットワークに接続されているPCでネットワーク状態を確認します。
- ・[ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ・ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワークが適切に機能しない場合があります。

！ 注意

- ・モジュラー電話ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- ・さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーの仕様に従ってください。
- ・ネットワーク設定メニューは、ディスプレイが物理ネットワークに接続されるまで利用できません。

ワイヤレスネットワーク設定のヒント

- ・ワイヤレスネットワークは、2.4 GHzの周波数で動作する他のデバイス（無線電話、Bluetoothデバイス、または電子レンジ）からの干渉を受ける可能性があります。他のWi-Fiデバイスと同様に、周波数が5 GHzのデバイスからの干渉もあります。
- ・周囲のワイヤレス環境により、ワイヤレスネットワークサービスの実行が遅くなる可能性があります。
- ・ローカルホームネットワーク全体をオフにしないと、一部のデバイスでネットワークトラフィックが発生する場合があります。
- ・AP接続の場合、ワイヤレス接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要であり、デバイスでワイヤレス接続機能を有効にする必要があります。アクセスポイントでのワイヤレス接続の可用性については、サービスプロバイダーにお問い合わせください。
- ・AP接続のAPのSSIDとセキュリティ設定を確認します。APのSSIDおよびセキュリティ設定については、適切なドキュメントを参照してください。
- ・ネットワークデバイス（有線/無線回線共有、ハブ）の無効な設定により、モニターの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなることがあります。適切なマニュアルに従ってデバイスを正しくインストールし、ネットワークを設定します。
- ・接続方法は、APメーカーによって異なる場合があります。

一般設定

言語を構成するには

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [メニュー言語]
画面に表示されるメニューで言語のいずれかを選択します。

- [メニュー言語]: サイネージの言語を設定します。

キーボード言語のセットアップ

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [キーボード言語]
キーボードに表示する言語を選択します。

- [キーボード言語]: キーボードの言語を設定します。

時刻/日付を設定するには

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [時刻設定]
時間を確認または変更できます。

- [自動で設定]: 時間と日付を設定できます。
- [サマータイム]: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定できます。DSTの開始/終了設定は、互いに1日以上離れて設定した場合にのみ機能します。
- [NTPサーバーの設定]: 基本NTPサーバー以外のNTPサーバーを設定できます。(特定のモデルにのみ適用されます。)
- [タイムゾーン]: 大陸、国/地域、および都市の設定を変更できます。

モニターを自動的にオンまたはオフにするには

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [タイマー]
モニターのオン/オフタイマーを設定できます。

- [オンタイマー]: モニターの電源を入れる時間を設定できます。
- [オフタイマー]: モニターがオフになる時間を設定できます。
- [信号がなければ電源をオフ(15分)]: 入力ソースがない場合、モニターは15分後に自動的にオフになります。自動的にオフにたくない場合は、信号なしの電源オフを[オフ]に設定します。
- [自動電源オフ]: キー入力がない場合、モニターは自動的にオフになります。

！ ヒント

- オンタイム/オフタイムは、最大7つのスケジュールで保存できます。スケジュールリストのプリセット時間にモニターがオンまたはオフになります。複数のプリセット時間がスケジュールリストに保存されている場合、この関数は現在の時刻から最も近い時刻に機能します。
- オンまたはオフの時間が設定されると、これらの機能はプリセット時間に毎日動作します。
- スケジュールされた電源オフ機能は、デバイスの時刻が正しく設定されている場合にのみ正しく機能します。
- スケジュールされた電源オンと電源オフの時間が同じ場合、セットがオンになっている場合は電源オフの時間が電源オンの時間よりも優先され、セットがオフになっている場合はその逆になります。

セットIDの構成

SETTINGS / → → [機器設定] → [IDの設定]

- [IDの設定] (1～1000) : 複数の製品が表示用に接続されている場合、各製品に一意のセットID番号を割り当てます。1～1000の範囲の番号を割り当てて、オプションを終了します。製品ごとに割り当てたセットIDを使用して、各製品を個別に制御できます。
- [IDの自動設定] : 複数の製品が表示用に接続されている場合、一意のセットID番号を各セットに自動的に割り当てます。
- [IDの初期化] : 製品のセットIDを1にリセットします。

！ ヒント

- 自動ID設定を使用しているときは、IR信号のみ最初のセットに送信する必要があります。IR信号をその他のセットに送信すると、故障する可能性があります。

タイルモードの使用

(特定のモデルにのみ適用されます。)

SETTINGS / → → [機器設定] → [タイルモード]

統合画面は、各画面の構成と同じ方法で構成できます。

- [行] (1～15) : タイルの行数を設定します。
- [列] (1～15) : タイル列の数を設定します。
- [タイルID] (1～225) : タイルIDを設定します。選択したIDが画面に表示されます。
- [通常] : より自然な表示のために、画面間の距離を考慮して画像を一部省略しています。
- [通常サイズ] : Naturalモードの画面間の距離を設定します。
- [初期化] : タイル設定を2 x 2にリセットします。

！ ヒント

- タイルモードがオンに設定されている場合、スマート省エネモードは無効になり、他のディスプレイと同じ画質を提供します。
- 設定可能な列と線の最大数は、モデルによって異なります。
- この機能を使用するには、製品は次のことを行います。
 - 他の製品とともに表示する必要があります。
 - ディストリビューターまたはDPデジタイザーチェーンを介して各ディスプレイに接続して操作する必要があります。
 - タイルモード: 横x縦 (横= 1～15、縦= 1～15)
 - 15 x 15が利用可能

デュアルビュー画面の構成

(両面フラットOLEDモデルのみ)

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [デュアルビュー画面の設定]

- [フロントスクリーン名]: フロント画面の名前を設定します。
- [バックスクリーン名]: バック画面の名前を設定します。
- [画面の切り替え]: 画面の前面と背面の画像を交換します。
- [画面のミラーリング]: 現在の画面の画像を反対側の画面にコピーします。
- [映像オフ]: 前面または背面の画面をオフにします。
- [すべての設定を複製]: フロント画面のすべての設定をバック画面の設定にコピーします。このオプションは、フロント画面でのみ有効になります。

モニター設定をリセットするには

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [初期化]

すべてのモニター設定をリセットします。

UHD Deep Colorを使用する

(Ultra HDモデルのみ)

SETTINGS /  →  → [機器設定] → [UHD Deep Color]

HDMIまたはDPデバイスをDeep Color調整可能ポートの1つに接続する場合、UHD Deep Color設定メニューでUltra Deep Color On (6G) またはOff (3G) を選択できます。

ディープカラーオプションが3840 x 2160 @ 60 Hzでオンに設定されているときにグラフィックカードで互換性の問題が発生する場合は、ディープカラーオプションをオフに設定します。

- HDMIおよびDPの仕様は、入力ポートによって異なる場合があります。接続する前に、接続デバイスの仕様を確認してください。
- 高解像度4K @ 60 Hz (4:4:4, 4:2:2) ビデオ仕様には、HDMI入力ポート1および2が最適です。ただし、外部デバイスの仕様によっては、ビデオまたはオーディオがサポートされない場合があります。この場合は、別のHDMIポートに接続してください。

エンターテインメント

マルチメディア機能の使用

USB / SDストレージデバイスの接続

USBフラッシュメモリ、SDストレージデバイス、または外部ハードドライブなどのUSBストレージデバイスをディスプレイに接続し、マルチメディア機能を使用します。

注意

- 写真とビデオまたは音楽の再生中は、モニターの電源を切ったり、USBストレージデバイスを取り外したりしないでください。
- USBストレージデバイスに頻繁に保存したファイルは、ファイルの紛失や損傷は保証の対象外になる可能性があるため、頻繁にバックアップしてください。

USB/SDストレージデバイスの使用上のヒント

- ・ 認識できるのはUSBストレージデバイスのみです。
- ・ USBデバイスは、USBハブを介して接続されている場合、効果的に機能しません。
- ・ 自動認識プログラムを使用するUSBストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ・ 独自のドライバーを使用するUSBストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ・ USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なる場合があります。
- ・ 接続されたデバイスが動作しているときは、ディスプレイをオフにしたり、USBストレージデバイスのプラグを抜いたりしないでください。USBストレージデバイスが突然切断されると、保存されたファイルまたはデバイス自体が破損する可能性があります。
- ・ PCで動作するように変更されたUSBストレージデバイスを接続しないでください。デバイスによってモニターが誤動作したり、コンテンツが再生されなかったりする場合があります。通常の音楽、画像、またはビデオファイルを含むUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- ・ WindowsでサポートされていないユーティリティプログラムとしてフォーマットされたUSBストレージデバイスは認識されない場合があります。
- ・ 外部電源を必要とするUSBストレージデバイス (0.5 A以上) は、電源に個別に接続する必要があります。そうでない場合、デバイスが認識されない可能性があります。
- ・ デバイスの製造元が提供するケーブルを使用して、USBストレージデバイスを接続してください。
- ・ 一部のUSBストレージデバイスはサポートされていないか、スムーズに動作しない場合があります。
- ・ USBストレージデバイスのファイルアライメント方法はWindow XPの方法と似ており、ファイル名は最大100文字の英語文字を認識できます。
- ・ USBストレージデバイスに保存されているデータが破損する可能性があるため、重要なファイルを定期的にバックアップしてください。当社は、いかなるデータ喪失に対する責任も負いかねます。
- ・ USB HDDに外部電源がない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。デバイスが確実に検出されるようにするには、外部電源を接続します。
 - 外部電源には電源アダプターを使用してください。外部電源用のUSBケーブルは提供していません。

- USBストレージデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用する場合、最大4つのパーティションまたはUSBストレージデバイスを使用できます。
- USBストレージデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USBストレージデバイスが正常に機能しない場合は、切断して再接続します。
- 検出速度はデバイスによって異なります。
- USBストレージデバイスがスタンバイモードで接続されている場合、ディスプレイがオンになると、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- 推奨容量は、USB外付けハードドライブの場合は1 TB以下、USBメモリスティックの場合は32 GB以下です。
- 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- 「省エネ」機能を備えたUSB外付けハードドライブが機能しない場合は、ハードドライブの電源を入れ直してください。
- USB 2.0以下のUSBストレージデバイスもサポートされていますが、ビデオでは正しく機能しない場合があります。
- 1つのフォルダーで最大999個のサブフォルダーまたはファイルを認識できます。
- SDカードのSDHCタイプがサポートされています。SDXCカードを使用するには、まずカードをNTFSファイルシステムにフォーマットします。
- SDカードとUSBストレージデバイスではexFATファイルシステムがサポートされていません。
- SDカードに対応していないモデルがあります。

写真とビデオ

- OLEDモデルでは写真機能を使用できません。

サポートされている写真および動画ファイル

サポートされている外部字幕形式

- *.smi、*.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0 / 2.0)、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPlayer)、*.psb (PowerDivX)、*.dcs (DLP Cinema)

！ ヒント

- 字幕は特定のモデルではサポートされていません。
- 埋め込み字幕はサポートされていません。

サポートされているビデオコーデック

拡張子	コーデック	
.asf、.wmv	動画	VC-1詳細プロファイル(WMVAを除く)、VC-1シンプルプロファイルおよびメインプロファイル
	音声	WMA標準(WMA v1 / WMA Speechを除く)
.avi	動画	Xvid (3ワープポイントGMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4、.m4v、.mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp、.3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.ts、.trp、.tp、.mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg、.mpeg、.dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

！ ヒント

- 3Dビデオはサポートされません。

最大データ転送速度

- フルHD動画
H.264 1920 x 1080 @ 60P BP/MP/HP @ L4.2 40 Mbps
HEVC 1920 x 1080 @ 60P MP @ L4.1、Main10プロファイル@ L4.1 40 Mbps
- Ultra HD (Ultra HDモデルのみ)
H.264 1920 x 1080 @ 60P 4096 x 2160 @ 30P BP/MP/HP @ L5.1 50 Mbps
HEVC 4096 x 2160 @ 60P MP @ L5.1、Main10プロファイル@ L5.1 50 Mbps

サポートされている写真ファイル

ファイル形式	形式	項目
.jpeg、.jpg、.jpe	JPEG	- 最小: 64 x 64 - 最大 - 標準タイプ: 15360 (W) x 8640 (H) - プログレッシブタイプ: 1920 (W) x 1440 (H)
.png	PNG	- 最小: 64 x 64 - 最大: 5760 (W) x 5760 (H)
.bmp	BMP	- 最小: 64 x 64 - 最大: 1920 (W) x 1080 (H)

写真とビデオの表示

HOME /  

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。
- 2 目的の写真またはビデオを選択して表示します。

ビデオファイルを再生するためのヒント

- ユーザーが作成した字幕の中には、正常に機能しないものがあります。
 - 字幕の一部の特殊文字はレンダリングされません。
 - 字幕ではHTMLタグはサポートされていません。
 - サポートされている言語以外の言語の字幕は利用できません。
 - オーディオ言語が変更されると、画面が一時的に中断する場合があります (画像の停止、再生の高速化など)。
 - 破損したビデオファイルは正しく再生されないか、一部のプレーヤー機能が使用できない場合があります。
 - 一部のエンコーダで作成されたビデオファイルは、正しく再生されない場合があります。
 - 記録されたファイルのビデオおよびオーディオ構造がインターリーブされていない場合、ビデオまたはオーディオが出力されます。
 - 指定したタイプと形式以外のビデオファイルは、正しく再生されない場合があります。
 - 再生可能なビデオファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです。(モーションJPEG: 10 Mbpsのみ)
 - H.264 / AVCでレベル4.1以上にエンコードされたファイルのスムーズな再生を保証することはできません。
 - ファイルサイズが30 GBを超えるビデオファイルはサポートされていません。
 - ビデオファイルとその字幕ファイルは同じフォルダーに配置する必要があります。字幕を適切に表示するには、ビデオファイル名とその字幕ファイル名が同じである必要があります。
 - 高速接続をサポートしていないUSB接続を介してビデオを再生すると、正常に機能しない場合があります。
 - ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイスの字幕は、製造元とモデルによってはサポートされない場合があります。
 - GMC (Global Motion Compensation) またはQpel (Quarterpel Motion Estimation) でエンコードされたファイルのストリーミングはサポートされていません。
 - (Ultra HDモデルのみ) Ultra HD画像: 3840 X 2160
- LG Electronicsによって公式に提供されたコンテンツ以外の一部のHEVCエンコードされたUltra HDビデオは再生できません。一部のコーデックは、ソフトウェアのアップグレード後に使用できます。

拡張子	コーデック	
.mkv、.mp4、.ts	動画	H.264 / AVC、HEVC
	音声	ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、AAC、HE-AAC

- 再生可能なファイルサイズは、エンコード条件によって異なる場合があります。
- AACメインプロファイルはサポートされていません。
- 一部のエンコーダーで作成されたビデオファイルは再生されない場合があります。

定期演奏

- ・ 特定のモデルにのみ適用されます。

特定の時間に再生するように選択したコンテンツをスケジュールできます。(スケジュールされた再生は外部入力で利用可能です。)

HOME /  → 

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。
- 2 スケジュールするファイルを含むフォルダーを入力します。
- 3 右上隅にある[新しい予約再生]ボタンを押します。
- 4 再生をスケジュールするコンテンツを選択します。
- 5 スケジュールの詳細を入力して、新しいスケジュールを作成します。
- 6 設定した時間に選択したコンテンツの再生を見る。

輸出する

- ・ 特定のモデルにのみ適用されます。

HOME /  → 

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。
- 2 エクスポートするファイルを含むフォルダーを入力します。
- 3 右上の[エクスポート]ボタンをクリックします。
- 4 エクスポートするファイルを選択します。
- 5 右上の[コピー、移動]ボタンをクリックし、ファイルのエクスポート先のデバイスを選択します。
- 6 選択したデバイスにファイルがコピーまたは移動されたことを確認します。

削除する

HOME /  → 

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。
- 2 削除するファイルのパスを入力します。
- 3 [削除]ボタンをクリックします。
- 4 削除するファイルを選択します。
- 5 右上の[削除]ボタンをクリックします。
- 6 目的のファイルがリストから削除されていることを確認します。

音楽

サポートされている音楽ファイル

- オーディオ出力をサポートしていないモデルの中には、音楽を再生できないものがあります。

ファイル形式	項目	情報
.mp3	ビットレート	32 Kbpsから320 Kbps
	サンプリング周波数	16 KHzから48 KHz
	サポート	MPEG1、MPEG2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wav	ビットレート	-
	サンプリング周波数	8 kHzから48 kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64 Kbpsから320 Kbps
	サンプリング周波数	8 kHzから48 kHz
	サポート	ヴォーピス
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	128 Kbpsから320 Kbps
	サンプリング周波数	8 kHzから48 kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル

音楽を演奏

HOME /  → 

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。[マイプレイリスト]で、すべてのストレージデバイスで再生する曲を選択できます。
- 2 目的の音楽コンテンツを選択してお楽しみください。

削除する

HOME /  → 

- 1 目的のストレージデバイスを選択します。
- 2 削除するファイルのパスを入力します。
- 3 [削除]ボタンをクリックします。
- 4 削除するファイルを選択します。
- 5 右上の[削除]ボタンをクリックします。
- 6 目的のファイルがリストから削除されていることを確認します。

SuperSignコンテンツ

SuperSign Editorのエクスポートオプションを使用して、保存されたファイルを再生します。

エクスポートオプションを使用して保存されたファイルを再生するには

HOME /  → 

SuperSign Managerによって配布されたコンテンツのみが表示され、選択可能です。USB / SDストレージデバイスが接続されている場合、USB / SDデバイスの画像が追加で出力されます。

！ ヒント

- NormalまたはAutoPlayという名前のフォルダーがUSB/SDカードに存在し、再生可能ファイルがある場合、USB/SDカードを接続するとそれらのファイルは自動的に再生されます。
- OLED製品タイプでは、単一のビデオまたは単一のフラッシュファイル以外のコンテンツタイプは再生されません。SuperSign Editorで作成されたコンテンツも再生されません。

情報

Signage Monitorの基本情報を確認するには

HOME /  → 

Signage Monitorの基本情報を確認できます。

スマート省エネモードに切り替えたり、フェールオーバー設定を構成することもできます。(省電力モードがオフに設定されている場合のみ、スマート省電力モードに切り替えることができます。OLEDモデルには[スマート省エネモード]はありません。)

ローカルコンテンツスケジューラ

- 特定のモデルにのみ適用されます。
- 予約写真再生の推奨解像度は4096 x 2160以下です。

スケジュール再生の設定

Local Contents SchedulerとPhoto & Videoアプリを使用して、スケジュールされた再生を作成できます。

写真とビデオを使用したスケジュールされた再生

- 第一の方法: フォト & ビデオアプリのスケジュールされた再生セクションを参照してください。
- 2番目の方法: HOME /  → 
- 1 右上隅にある[新しい予約再生]ボタンを押します。
- 2 [ローカルコンテンツ]ボタンを押します。
- 3 再生をスケジュールするストレージデバイスを選択します。
- 4 フォト & ビデオアプリに移動した後に再生するようにスケジュールするコンテンツを選択します。
- 5 スケジュールの詳細を入力して、新しいスケジュールを作成します。
- 6 設定した時間に選択したコンテンツの再生を見る。

外部入力によるスケジュールされた再生

HOME /  → 

- 1 右上隅にある[新しい予約再生]ボタンを押します。
- 2 入力ソースを選択します。
- 3 スケジュールの詳細を入力して、新しいスケジュールを作成します。
- 4 設定した時間に選択した外部入力の再生を確認します。

画面共有

- 特定のモデルにのみ適用されます。

WiDiやMiracastなどのワイヤレス接続を介して、モバイルデバイスやWindows PCなどのデバイスの画面をモニターに表示できます。

画面共有を使用する

HOME /

- 右上の[接続ガイド]ボタンからアクセスできるガイドに記載されている指示に従って接続します。
- 接続が確立されると、ユーザーデバイスとモニターとの間のScreen Shareが有効になります。

！ ヒント

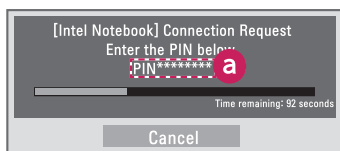
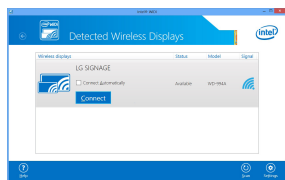
WiDi (Wireless Display) の設定

ワイヤレスディスプレイの略であるWiDiは、Intel WiDiをサポートするラップトップからディスプレイにビデオファイルとサウンドファイルをワイヤレスで送信するシステムです。

このシステムは限定された入力モード (Composite/Component/RGB/HDMI/DisplayPort/OPS/DVI-D) で使用できます。

これ以外の入力モードでは、PCがLGサイネージを検知できません。

- ラップトップをAPに接続します。(この機能はAPに接続しなくても使用できますが、最適なパフォーマンスを得るにはAP接続をお勧めします。) Intel WiDi () ラップトップでプログラムします。
- WiDiをサポートする近くのLGサイネージを検出されます。検出されたディスプレイのリストで、接続するサイネージを選択し、[接続]をクリックします。ノートパソコンの入力フィールドのサイネージに表示されている8桁のPIN番号 (a) を入力し (b)、[続行]をクリックします。



サイネージ画面



ノートパソコンの画面

- 10秒以内に、サイネージ画面にラップトップ画面が表示されます。無線環境が画面表示に影響を与えることがあります。接続状態が悪いと、Intel WiDi接続が切断される場合があります。
- LG Signageを登録する必要はありません。
 - Intel WiDiの使用の詳細については、次のWebサイトをご覧ください。 <http://intel.com/go/widi>。
 - これは、WiDi 3.5以降のバージョンで正常に機能します。

グループマネージャー

- ・ 特定のモデルにのみ適用されます。

このテンプレートベースのコンテンツ編集プログラムを使用して、コンテンツを作成、管理、および再生できます。マスター、スレーブ、スタンドアローンの3つのモードが用意されています。マスター、スレーブ、スタンドアローン。このプログラムを使用して、マスターとスレーブの間でスケジュールを配布および再生できます。また、モバイルデバイスまたはPCからのアクセスも提供します。

⚠ 注意

- ・ USBドライブ/SDカードに保存されている最大5,000の画像をPCまたはモバイルデバイスから表示できます。5,000を超える画像は、PCまたはモバイルデバイスから表示できません。さらに、USBドライブまたはSDカードで使用するために、1,000個以下の画像を保存することをお勧めします。1,000を超える画像を使用すると、環境によっては画像がスムーズに表示されない場合があります。
- ・ サポートされているデバイス（デバイスまたはブラウザのタイプまたはバージョンによっては、一部の機能が利用できない場合があります。）
 - Android 4.4以降 (Chromium v.38.0)
 - iOS 8以降 (Safari v.600.1.4以降)
 - PC: Chromium v.38.0
- ・ サポートされている解像度（このプログラムは、次の解像度に対して最適化されています）：
 - 360 x 640, 600 x 960, 375 x 667, 768 x 1024および1920 x 1080
- ・ UHDモデルでUHDビデオを再生する場合、処理速度の制限により、高ビットレートのビデオが正しく再生されない場合があります。
- ・ モニターが同じネットワークに接続されている場合、マスターモードでスレーブモードを選択できます。
- ・ 50 MBを超えるビデオファイルは、モバイルデバイスから適切にアップロードできない場合があります。USB / SDストレージデバイスを介してこのようなファイルを再生することをお勧めします。

機能

ユーザーが選択したモードに応じて、以下の機能が提供されます。ただし、スレーブモードは、マスターモードで選択されたモニターに自動的に設定されます。

- ・ マスター
 - グループ: 追加/編集/削除/制御 (ボリューム、バックライト、再起動、終了)
 - コンテンツ: 追加/編集/削除
 - スケジュール: 追加/編集/削除/配布/再生
 - PIN番号の編集/USBの自動バックアップ/USBバックアップの復元/メール設定/QRコード/デバイスモード
- ・ スレーブ
 - マスターから配信されたスケジュールを再生します
- ・ スタンドアローン
 - コンテンツ: 追加/編集/削除
 - スケジュール: 追加/編集/削除/配布/再生
 - PIN番号の編集/QRコード/デバイスモード

使用方法

- ・モニター:ランチャーバーでアプリを実行し、目的のコンテンツを追加/編集/削除します。
- ・モバイルデバイス:ランチャーバーでアプリを実行し、提供されたQRコードまたはURLを使用してアクセスします。

！ ヒント

- ・モバイルデバイスを使用する場合、PINコードを使用して認証プロセスを実行する必要があります。ランチャーバー内のアプリで初期パスワードを確認できます。
- ・セキュリティのため、初期PINコードでログインし、PINコードを変更してください。
- ・初期パスワードを変更すると、アプリにPINコードが表示されなくなります。
- ・PCを使用する場合は、1920 x 1080 (フルHD) 解像度のフルスクリーン (F11) 機能を使用して、モニターと同じ画面を表示します。
- ・配布されたスケジュールを削除するには、スケジュールを無効にして再配布します。

サポートされている写真ファイル

ファイル形式	形式	項目
.jpeg、.jpg	JPEG	・ 最小:64 x 64 ・ 最大:1920 (W) x 1080 (H)
.png	PNG	・ 最小:64 x 64 ・ 最大:1920 (W) x 1080 (H)

サポートされているビデオコーデック

写真とビデオアプリの「サポートされるビデオコーデック」の表を参照してください。

ビデオファイルを再生するためのヒント

写真とビデオアプリの「ビデオファイルを再生するためのヒント」サブセクションを参照してください。

レベルツール

- ・ 特定のモデルにのみ適用されます。
製品を屋外でエンクロージャーに設置する場合、製品が水平および垂直レベルにあるかどうかを確認できます。

レベルツールへのアクセス

HOME /  → 

製品が水平および垂直レベルにあるかどうかを確認できます。

レベルツールを終了する

リモコンのEXITキーを押して、レベルツールを終了します。

製品の角度を確認する

HOME /  → 

- ・ レベラーの気泡と角度表示を使用して、製品の傾きを確認できます。
- ・ 左/右の傾きは、画面の左側にあるレベラーと角度表示によって示されます。
- ・ フロント/バックチルトは、画面の右側にあるレベラーと角度表示によって示されます。

！ ヒント

- ・ 製品がいずれかの方向に5度を超える角度で傾くと、製品の角度を調整する方向に矢印が点滅します。

コントロールマネージャー

・特定のモデルにのみ適用されます。
Webブラウザを使用して、ディスプレイの状態を制御および確認できます。
この機能は、PCおよびモバイルデバイスで使用できます。

注意

- ・サポートされている解像度 (このプログラムは、次の解像度に対して最適化されています) :
 - 1920 x 1080 / 375 x 667
- ・サポートされているブラウザ (このプログラムは、次のブラウザに対して最適化されています) :
 - Chrome 50以降 / Firefox 38以降
- ・[OSDポートレートモード]に設定すると、キャプチャされる画面に表示されるOSDメニューは横向きになります。

機能

- ・ダッシュボード: 製品のステータスの概要を表示し、各ページへのリンクを提供します。
- ・デバイス制御: 画面の明るさ、音と入力、再起動などを調整します。
- ・仮想コントローラー: 製品に表示される画像をリアルタイムで表示し、リモート制御を可能にします。
- ・画像: 画像モード、省エネ、OSDポートレートなどを設定します。
- ・ネットワーク: サイネージ名、IPアドレスなどを設定します。
- ・時間: [自動で設定]を有効または無効にして、製品に設定されている現在の時刻を表示します。
- ・チェック画面: 製品の現在の画像出力を表示します。
- ・ドアモニター製品が開いているか閉じているかを示し、各ステータスの画面ミュートのコントロールを提供します。
- ・ソフトウェア更新: ファームウェアのアップデートを提供します。
- ・チャート: 製品の温度、ファンの状態などに関する情報をチャート形式で出力します。
- ・ファンの状態: 製品に取り付けられたファンのステータスを表示します。
- ・ログ: 製品の誤動作レコードを表示します。
- ・システムインフォメーション: 製品のソフトウェアバージョン、モデル名などを出力します。
- ・メディアライブラリ: メディアファイルを製品にアップロードし、アップロードされたファイルを出力します。

使用方法

PCの場合

- 1 入る '<https://製品のIPアドレス:3737> ブラウザのアドレスバーでControl Managerログインページにアクセスします。
- 2 パスワードウィンドウにパスワードを入力します。(ランチャーバー内のアプリで初期パスワードを確認できます。)
- 3 パスワードの入力後に[Login]ボタンをクリックし、[Dashboard]にアクセスします。
- 4 右上のメニューボタンをクリックして、ユーザーメニュー(パスワードの変更、ログアウト)にアクセスします。

モバイルデバイスの場合(IPアドレスの入力)

- 1 入る '<https://製品のIPアドレス:3737> ブラウザのアドレスバーでControl Managerログインページにアクセスします。
- 2 パスワードウィンドウにパスワードを入力します。(ランチャーバー内のアプリで初期パスワードを確認できます。)
- 3 パスワードの入力後に[Login]ボタンをクリックし、[Dashboard]にアクセスします。
- 4 左上の[メニュー]ボタンをクリックしてメニューを展開します。
- 5 右上のメニューボタンをクリックして、ユーザーメニュー(パスワードの変更、ログアウト)にアクセスします。

モバイルデバイスの場合(QRコードの認識)

- 1 コントロールマネージャーアプリを起動します。
- 2 スマートフォンでQRコードをスキャンし、[ログイン]ページにアクセスします。
- 3 パスワードの入力後に[Login]ボタンをクリックし、[Dashboard]にアクセスします。
- 4 左上の[メニュー]ボタンをクリックしてメニューを展開します。
- 5 右上のメニューボタンをクリックして、ユーザーメニュー(パスワードの変更、ログアウト)にアクセスします。

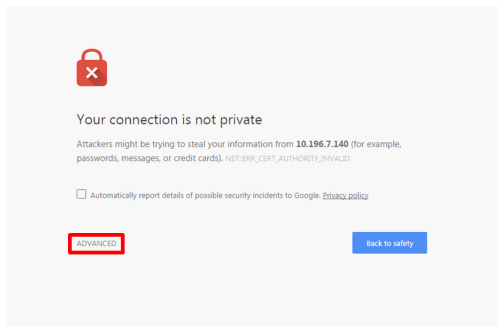
注意

- セキュリティプロトコルをサポートしていないアプリの場合は、ブラウザのアプリの画面に表示されるアドレスを入力してControl Managerにアクセスします。
- セキュリティのため、初期パスワードでログインし、パスワードを変更してください。
- 初期パスワードを変更すると、アプリにパスワードが表示されなくなります。

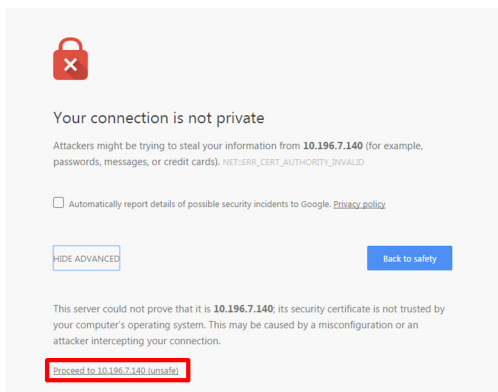
アクセス時にセキュリティ証明書に問題が発生した場合は、次の手順を実行します。

Chromeの場合

1 「高度な'

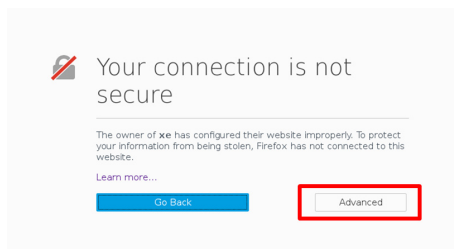


2 「製品のIPアドレスに進む(安全でない)'

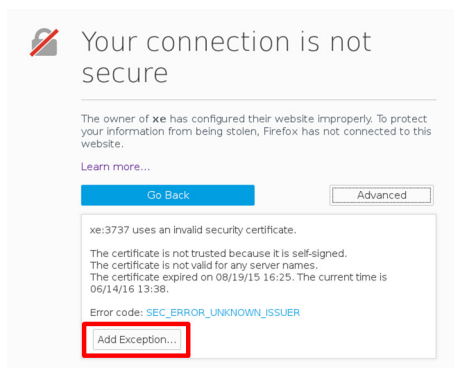


FireFoxの場合

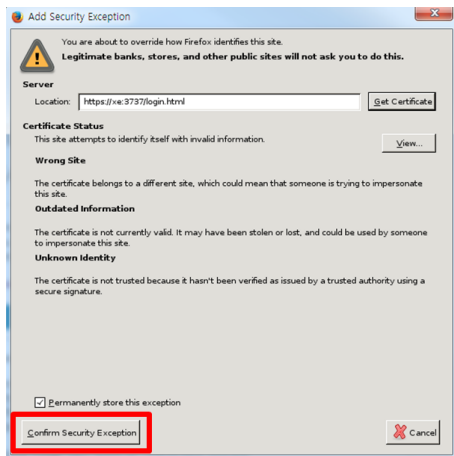
1 「高度な'



2 [追加]をクリックします例外...'



3 「セキュリティ例外を確認」



* リンクとボタンの文字列は、使用しているOS (オペレーティングシステム) や言語設定によって異なる場合があります。

マルチスクリーン

- 特定のモデルにのみ適用されます。
単一の画面上で複数の外部入力や動画を表示できます。

マルチスクリーンへのアクセス

HOME /  

[マルチスクリーン]を入力して、画面レイアウトを選択します。

！ ヒント

- [マルチスクリーン]を入力すると、特定のデバイスで画面がちらついたり、画像が異常に見える場合がありますが、最適な解像度が自動的に選択されます。このような場合は、モニターを再起動してください。

画面のレイアウトの選択

画面レイアウトを設定せずに[マルチ画面]に入ると、画面レイアウト選択メニューが表示されます。

画面レイアウトメニューが表示されない場合は、リモコンの上矢印キーを押して画面レイアウトメニューバーに移動し、選択して画面レイアウトメニューを表示できます。

画面のレイアウトのメニューを閉じる

画面レイアウトメニューから、リモコンの上矢印キーを押して画面レイアウトメニューバーに移動して選択するか、[戻る]キーを押して画面レイアウトメニューを閉じます。

画面入力の変更

各分割画面の右上にある  ボタンを押して、目的の入力を選択します。

！ ヒント

- 他の分割画面ですでに選択した入力を、再度選択することはできません。それらを選択するには、「リセット」ボタンを押して、最初にすべての画面の入力をリセットします。
- PIPモードは、コンテンツの回転とOSDポートレートが0に設定されている場合にのみ使用できます。

分割画面での動画再生

各分割画面の右上にある  ボタンを押します。[動画ファイル]を選択し、ストレージデバイスを選択して、選択したデバイス内の動画のリストを表示します。次に、リストから目的の動画を選択して、再生します。

！ ヒント

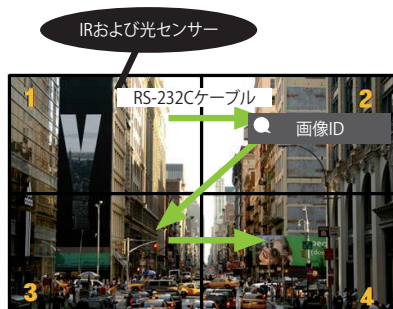
- 分割画面では、HEVC、MPEG-2、H.264、またはVP9コーデックを使用して作成された動画を再生できません。PIPモードを使用しているときは、以下の組み合わせは使用できません。

メイン	サブ
HEVC	HEVC
H.264	HEVC
MPEG-2	HEVC
VP9	VP9

画像ID設定

- 特定のモデルにのみ適用されます。
[PICTURE ID]は、マルチビジョン用の単一のIRレシーバーを使用して特定のセット(ディスプレイ)の設定を変更するために使用されます。IRレシーバー付きのモニターと、RS-232Cケーブルを使用するその他のモニターとの通信が可能です。各モニターは、[IDの設定]によって識別されます。リモートコントロールを使用して[PICTURE ID]を割り当てると、PICTURE IDとIDの設定が一致するディスプレイのみをリモートで制御できます。

- 以下に示すように、インストールされたモニターにセットIDを割り当てます。



- リモコンの赤いONボタンを押して、PICTURE IDを割り当てます。
 - 選択した選択にセットIDを割り当てます。
- PICTURE IDとは異なるセットIDを持つセットは、IR信号で制御できません。

！ ヒント

- PICTURE IDを2に設定すると、セットIDが2の右上モニターのみがIR信号で制御できます。
- PICTURE IDの緑色のOFFボタンを押すと、すべてのモニターのPICTURE IDがオフになります。その後、リモコンのボタンを押すと、セットIDに関係なくすべてのモニターをIR信号で制御できます。

IRコード

すべてのモデルがHDMI/USB機能をサポートしているわけではありません。
モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード(16進)	機能	備考
08	 (パワー)	リモコンボタン
C4	MONITOR ON	リモコンボタン
C5	モニターオフ	リモコンボタン
95	ENERGY SAVING (映像省エネ設定)	リモコンボタン
0B	 (入力)	リモコンボタン
10	Number Key 0 (数字キー9)	リモコンボタン
11	Number Key 1 (数字キー9)	リモコンボタン
12	Number Key 2 (数字キー9)	リモコンボタン
13	Number Key 3 (数字キー9)	リモコンボタン
14	Number Key 4 (数字キー9)	リモコンボタン
15	Number Key 5 (数字キー9)	リモコンボタン
16	Number Key 6 (数字キー9)	リモコンボタン
17	Number Key 7 (数字キー9)	リモコンボタン
18	Number Key 8 (数字キー9)	リモコンボタン
19	Number Key 9 (数字キー9)	リモコンボタン
02	 (ボリュームアップ)	リモコンボタン
03	 (ボリュームダウン)	リモコンボタン
E0	輝度  (ページアップ)	リモコンボタン
E1	輝度  (ページダウン)	リモコンボタン
DC	 (3D)	リモコンボタン
32	1 / a / A	リモコンボタン
2F	CLEAR (消去)	リモコンボタン
7E	 SIMPLINK	リモコンボタン
79	ARC (MARK) (アスペクト比)	リモコンボタン
4D	PSM (映像モード)	リモコンボタン
09	 (ミュート)	リモコンボタン

コード(16進)	機能	備考
43	 (設定(メニュー))	リモコンボタン
99	自動設定。	リモコンボタン
40	▲ (アップ)	リモコンボタン
41	▼ (ダウン)	リモコンボタン
06	▶ (右)	リモコンボタン
07	◀ (左)	リモコンボタン
44	 (OK)	リモコンボタン
28	↶ (戻る)	リモコンボタン
7B	タイル	リモコンボタン
5B	出口	リモコンボタン
72	PICTURE ID ON (赤)	リモコンボタン
71	画像IDオフ (緑)	リモコンボタン
63	黄	リモコンボタン
61	青い	リモコンボタン
B1	■	リモコンボタン
B0	▶	リモコンボタン
BA		リモコンボタン
8F	◀◀	リモコンボタン
8E	▶▶	リモコンボタン
5F	W.BAL	リモコンボタン
3F	 (S.MENU)	リモコンボタン
7C	⬆ (ホーム)	リモコンボタン
97	スワップ	リモコンボタン
96	鏡	リモコンボタン

複数の製品を制御するには

- 特定のモデルにのみ適用されます。

この方法を使用して、複数のモニターを1台のPCに接続できます。複数のモニターを1台のPCに接続することで、それらを一度に制御できます。

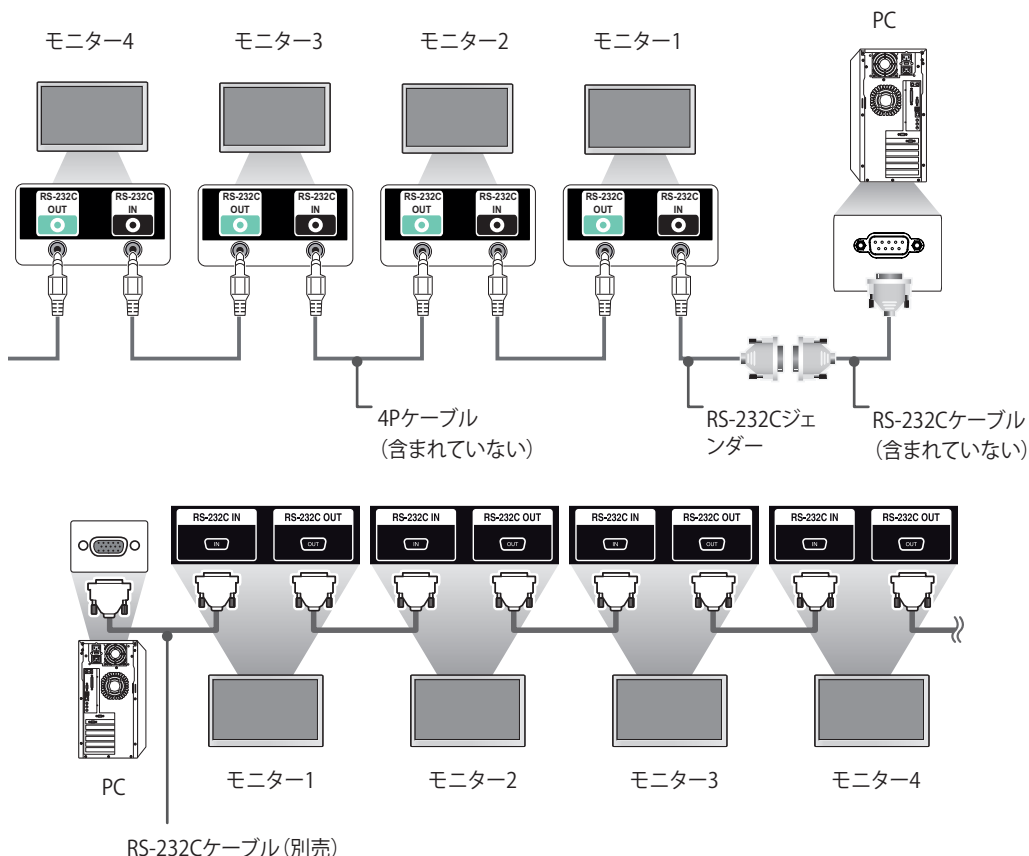
[オプション]メニューで、セットIDは1～1,000の範囲にし、重複がないようにする必要があります。

ケーブルを接続する

- モデルによっては、図が異なっている場合があります。

図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

PCとモニター間の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。製品をオンまたはオフにしたり、入力ソースを選択したり、PCからOSDメニューを調整したりできます。

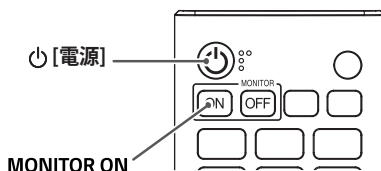


通信パラメーター

ボーレート: 9,600 bps
 データ長: 8ビット
 パリティビット: なし
 ストップビット: 1ビット
 フロー制御: なし
 通信コード: ASCIIコード

！ ヒント

- 3線式接続 (非標準) を使用する場合、IRデジチェーンは使用できません。
- 適切に接続するために必ず同梱のジェンダーのみをご使用ください。
- デジチェーン (複数のモニターを制御する) を介して接続されたモニターが連続してオフおよびオンになると、一部のモニターがオンにならない場合があります。この場合、これらのモニターをオンにするには、**MONITOR ON** ボタンではなく **POWER** ボタン。



コマンドリファレンスリスト

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
01	[電源]	k	a	00～02
02	[入力の選択]	x	b	[入力の選択]を参照してください
03	[画面サイズ]	k	c	[画面サイズ]を参照
04	[映像省エネ設定]	j	q	[映像省エネ設定]をご覧ください
05	[映像モード]	d	x	[映像モード]を参照
06	[コントラスト]	k	g	00～64
07	[明るさ]	k	h	00～64
08	[シャープネス]	k	k	00～32
09	[色]	k	i	00～64
10	[色合い]	k	j	00～64
11	[色温度]	x	u	00～64
12	[バランス]	k	t	00～64
13	[サウンドモード]	d	y	[サウンドモード]を参照
14	[ミュート]	k	e	00～01
15	[音量コントロール]	k	f	00～64
16	[時間1 (年/月/日)]	f	a	[時間1]を参照
17	[時間2 (時間/分/秒)]	f	x	[時間2]を参照
18	[時間外のスケジュール]	f	c	00～01
19	[スケジュールどおり]	f	b	00～01
20	[オフタイマー] ([繰り返し] / [時刻])	f	e	[オフタイマー]を参照してください
21	[オンタイマー] ([繰り返し] / [時刻])	f	d	[オンタイマー]を参照してください
22	[オンタイマー入力]	f	u	[オンタイマー入力]を参照してください
23	[信号がなければ電源をオフ(15分)]	f	g	00～01
24	[自動電源オフ(4時間)]	m	n	00～01
25	[言語設定]	f	i	[言語設定]を参照

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
26	[リセット]	f	k	00～02
27	[現在温度]	d	n	FF
28	[キー]	m	c	[キー]を参照
29	[経過時間]	d	l	FF
30	[製品シリアル番号]	f	y	FF
31	[ソフトウェアバージョン]	f	z	FF
32	[ホワイトバランス赤ゲイン]	j	m	00～FE
33	[ホワイトバランス緑ゲイン]	j	n	00～FE
34	[ホワイトバランス青ゲイン]	j	o	00～FE
35	[ホワイトバランス赤オフセット]	s	x	00～7F
36	[ホワイトバランス緑オフセット]	s	y	00～7F
37	[ホワイトバランス青オフセット]	s	z	00～7F
38	[バックライト]	m	g	00～64
39	[映像オフ]	k	d	00～01
40	[タイルモード]	d	d	00～FF
41	[タイルモードの確認]	d	z	FF
42	[タイルID]	d	i	[タイルID]を参照
43	[ナチュラルモード]	d	j	00～01
44	[DPMセレクト]	f	j	00～07
45	[リモートコントロール] / [ローカルキーロック]	k	m	00～01
46	[電源オン遅延]	f	h	00～FA
47	[フェールオーバー選択]	m	i	00～02
48	[フェールオーバー入力選択]	m	j	[フェールオーバー入力選択]を参照してください
49	[IR操作]	t	p	00～02
50	[ローカルキー操作]	t	o	00～02

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
51	[状態を確認する]	s	v	[状態の確認]をご覧ください
52	[画面確認]	t	z	00～01
53	[スピーカー]	d	v	00～01
54	[サマータイム]	s	d	[サマータイム]を参照
55	[PMモード]	s	n、0c	00～03
56	[ISM メッセージ]	j	p	[ISM方式]を参照
57	[ネットワーク設定]	s	n、80(81) (82)	[ネットワーク設定]を参照
58	[自動調整]	j	u	01
59	[水平位置]	f	q	00～64
60	[垂直位置]	f	r	00～64
61	[水平サイズ]	f	s	00～64
62	[電源オンの状況]	t	r	00～02
63	[Wake On LAN]	f	w	00～01
64	[インテリジェント自動]	t	i	00～01
65	[OSD縦モード]	t	h	00～02
66	[初期化]	t	n	00～01
67	[時刻同期]	s	n、16	00～01
68	[コンテンツ同期]	t	g	00～01
69	[ピボットモード]	t	a	00～01
70	[スタジオモード]	s	n、83	00～01
71	[LANデイジーチェーン]	s	n、84	00～01
72	[コンテンツの回転]	s	n、85	00～02
73	[DPMウェイクアップコントロール]	s	n、0b	00～01
74	[スキャン反転]	s	n、87	00～01
75	[ビーコン]	s	n、88	00～01

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
76	[画面サイズ] ([回転])	s	n、 89	00～01
77	[簡単輝度調整モード]	s	m	00～01
78	[簡単な明るさ制御スケジュール]	s	s	[簡単な明るさ制御スケジュール]を参照してください
79	[マルチスクリーン]モードと[入力]	x	c	[マルチスクリーン]モードと[入力]を参照してください
80	[画面サイズ] ([マルチスクリーン])	x	d	[画面サイズ] ([マルチスクリーン])を参照してください
81	[スクリーンミュート] ([マルチスクリーン])	x	e	[スクリーンミュート] ([マルチスクリーン])を参照してください
82	[常に画面オフ]	s	n、 0d	00～01
83	[画面の動画を固定]	k	x	00～01
84	[ワイヤレスLANで起動]	s	n、 90	00～01
85	[JustScanトグル]	s	n、 91	00～01
86	[休日スケジュールモード]	s	n、 1a	00～01
87	[休日スケジュール]	s	n、 1b	[休日スケジュールセクション]をご覧ください。
88	[デュアルスクリーンオフ]	s	n、 92	00～02
89	[ファン制御]	d	o	00～03
90	[ファン障害チェック]	d	w	FF
91	[輝度値読み取り]	m	u	FF
92	[BLUメンテナンス]	m	t	00～01
93	[電源インジケータの設定]	f	o	00～01
94	[OSDディスプレイ]	k	l	00～01
95	[半透明の明るさ]	s	n、 95	00～64
96	[ハイブリッドモード]	s	n、 96	00～02
97	[復帰間隔]	s	n、 97	00から0a
98	[プロキシミティ感度]	s	n、 98	00～02
99	[HDMI ITコンテンツ]	s	n、 99	00～01
100	[UPnPモード]	s	n、 9c	00～01
101	[モデル名の確認]	f	v	FF
102	[無信号の画像]	s	n、 a9	00～01
103	Wi-Fi	s	n、 9f	00～01
104	アナログSignage BLU設定	s	n、 c2	00～01
105	アナログサイネージBLUのオン/オフ 時間設定	s	n、 c3	アナログサイネージBLUのオン/オフを参照してください 時間設定
106	BLU手動オン/オフ	s	n、 c4	00～01
107	サイレントファンモード	s	n、 c7	00～01

* ヒント: 外部入力を使用しないと、コマンドが機能しない場合があります。モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

送受信プロトコル

放送

[コマンド1][コマンド2][][IDの設定][][データ][Cr]

- * [コマンド1]:工場設定とユーザー設定モードを識別します。
- * [コマンド2]:モニターセットを制御します。
- * [IDの設定]:コントロールするセットの選択に使用します。OSDメニューの[設定]で、一意のセットIDを1から1000 (01H~3E8H) の範囲の各セットに割り当てることができます。セットIDに「00H」を選択すると、すべての接続されたモニターを同時に制御できます。(モデルによって最大値は異なります。)
- * [データ]:コマンドデータを送信します。コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
- * [Cr]:キャリッジリターン。ASCIIコードの「0x0D」に対応します。
- * []:ホワイトスペース。ASCIIコードの「0x20」に対応します。

アクノリッジメント

[コマンド2][][IDの設定][][OK/NG][データ][x]

- * 製品は、通常のデータを受信すると、この形式に基づいてACK(確認)を送信します。このとき、データがFFの場合、現在のステータスデータを示します。データがデータ書き込みモードになっている場合は、PCコンピュータのデータを返します。
- * セットID '00' (= 0x00) でコマンドが送信されると、データはすべてのモニターセットに反映され、各モニターセットは確認応答 (ACK) を送信しません。
- * データ値 'FF'がRS-232Cを介して制御モードで送信される場合、機能の現在の設定値を確認できます(一部の機能のみ)。
- * モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていません。

01. [電源](コマンド:k a)

セットの電源オン/オフを制御します。

放送

(k)(a)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ
01:オン
02:再起動

アクノリジジメント

(a)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * モニターの電源が完全にオンになっている場合にのみ、確認信号が正しく返されます。
- * 送信信号と確認信号の間に遅延がある場合があります。

02. [入力を選択](コマンド:x b)

入力信号を選択します。

放送

(x)(b)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 20:AV
40:成分
60:RGB
70:DVI-D (PC)
80:DVI-D (DTV)
90:HDMI1 (DTV)
A0:HDMI1 (PC)
91:HDMI2 / OPS (DTV)
A1:HDMI2 / OPS (PC)
92:OPS / HDMI3 / DVI-D (DTV)
A2:OPS / HDMI3 / DVI-D (PC)
95:OPS / DVI-D (DTV)
A5:OPS / DVI-D (PC)
96:HDMI3 / DVI-D (DTV)
A6:HDMI3 / DVI-D (PC)
98:OPS (DTV)
A8:OPS (PC)
C0:ディスプレイポート (DTV)
D0:ディスプレイポート (PC)
E0:SuperSign webOSプレーヤー
E1:その他
E2:マルチスクリーン

アクノリジジメント

(b)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。
- * webOS PlayerがSuperSign WまたはSuperSign Premiumから配布されていない場合、NGに戻ります。

03. [画面サイズ](コマンド:k c)

アスペクト比を調整します。

放送

(k)(c)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 01:4:3
02:16:9
04:ズーム
06:プログラムで設定
09:スキャンするだけ(720p以上)
10~1F:Cinema Zoom 1から16
21:58:9
30:垂直ズーム
31:全方向ズーム

- * 利用可能なデータタイプは、入力信号によって異なります。詳細については、取扱説明書のアスペクト比のセクションをご覧ください。
- * アスペクト比は、モデルの入力構成によって異なる場合があります。

アクノリジジメント

(c)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

04. [映像省エネ設定](コマンド:j q)

省エネを設定します。

放送

(j)(q)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ
01:最小
02:中
03:最大
04:自動
05:画面オフ

アクノリジジメント

(q)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * これは、モデルによってはサポートされない場合があります。

05. [映像モード](コマンド:d x)

映像モードを選択します。

放送

(d)(x)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: 鮮やか
 01: 標準
 02: シネマ
 03: スポーツ
 04: ゲーム
 05: エキスパート1
 06: エキスパート2
 08: 自動電源保存
 09: 写真
 10: タッチ
 11: 校正

アクノリッジメント

(x)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによっては、一部のピクチャーモードがサポートされていない場合があります。

06. [コントラスト](コマンド:k g)

画面のコントラストを調整します。

放送

(k)(g)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~64: コントラスト0~100

アクノリッジメント

(g)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

07. [明るさ](コマンド:k h)

画面の明るさを調整します。

放送

(k)(h)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~64: 明るさ0~100

アクノリッジメント

(h)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

08. [シャープネス](コマンド:k k)

画面のシャープネスを設定します。

放送

(k)(k)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~32: シャープネス0~50

アクノリッジメント

(k)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

09. [色](コマンド:k i)

画面の色を調整します。

放送

(k)(i)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~64: 色0から100

アクノリッジメント

(i)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

10. [色合い](コマンド:k j)

画面の色合いを調整します。

放送

(k)(j)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~64: 濃い赤50から緑50

アクノリッジメント

(j)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

11. [色温度](コマンド:x u)

画面の色温度を調整します。

放送

(x)(u)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ00~64: ウォーム50からクール50

アクノリッジメント

(u)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

12. [バランス] (コマンド:k t)

サウンドバランスを調整します。

放送

(k)(t)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00~64: 左50から右50

アクノリッジメント

(t)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

13. [サウンドモード] (コマンド:d y)

サウンドモードを選択します。

放送

(d)(y)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 01:標準

02:音楽

03:シネマ

04:スポーツ

05:ゲーム

07:ニュース (Clear Voice III)

アクノリッジメント

(y)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

14. [ミュート] (コマンド:k e)

サウンドをミュート/ミュート解除します。

放送

(k)(e)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:ミュート

01:ミュートを解除

アクノリッジメント

(e)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

15. [音量コントロール] (コマンド:k f)

再生音量を調整します。

放送

(k)(f)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00~64: ボリューム0から100

アクノリッジメント

(f)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

16. [時刻] 1 (年/月/日) (コマンド:f a)

時間1 (年/月/日) の値を設定するか、自動時間を設定します。

放送

1.(f)(a)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)()(データ3)(Cr)

2.(f)(a)()(IDの設定)()(0)(0)()(データ1)()(Cr)

1.時間1の設定 (年/月/日)

データ1 04~1B: 2014年から2037年

データ2 01~0C: 1月から12月

データ3 01~1F: 1日から31日

* 「fa [IDの設定] ff」と入力して、時刻1 (年/月/日) 設定を表示します。

2.オートタイムを設定する

データ1 00:自動

01:手動

* 自動時刻の設定値を表示するには、「fa [IDの設定] 00 ff」を入力します。

アクノリッジメント

1.(a)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

2.(a)()(IDの設定)()(OK/NG)(0)(0)(データ1)(x)

17. [時刻] 2(時間/分/秒) (コマンド:f x)

時間2(時間/分/秒)の値を調整します。

放送

(f)(x)(IDの設定)(データ1)(データ2)(データ3)(Cr)

データ1 00~17:00~23時間

データ2 00~38:00~59分

データ3 00~38:00~59秒

* 「fx [IDの設定] ff」と入力して、時間2(時間/分/秒)設定を表示します。

* この機能は、時間1(年/月/日)が設定されている場合にのみ使用できます。

アクノリジメント

(x)(IDの設定)(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

18. [オフタイムスケジュール] (コマンド:f c)

オフタイムスケジュールを有効または無効にします。

放送

(f)(c)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリジメント

(c)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

19. [スケジュール通り] (コマンド:f b)

オンタイムスケジュールを有効/無効にします。

放送

(f)(b)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリジメント

(b)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

20. [オフタイマー] (繰り返し/時間) (コマンド:f e)

オフタイマー (繰り返し/時間) 設定を構成します。

放送

(f)(e)(IDの設定)(データ1)(データ2)(データ3)(Cr)

データ1

1.f1h~e7h(データの読み取り)

F1:1番目のオフタイマーデータを読み取ります

F2:2番目のオフタイマーデータを読み取ります

F3:3番目のオフタイマーデータを読み取ります

F4:4番目のオフタイマーデータを読み取ります。

F5:5番目のオフタイマーデータを読み取ります

F6:6番目のオフタイマーデータを読み取ります。

F7:7番目のオフタイマーデータを読み取ります。

2.e1h~e7h(1つのインデックスを削除)、e0h(すべてのインデックスを削除)

E0:すべてのオフタイマー設定を消去します

E1:1番目のオフタイマー設定を消去します

E2:2番目のオフタイマー設定を消去します

E3:3番目のオフタイマー設定を消去します

E4:4番目のオフタイマー設定を消去します

E5:5番目のオフタイマー設定を消去します

E6:6番目のオフタイマー設定を消去します

E7:7番目のオフタイマー設定を消去します

3.01h~0Ch(オフタイマーの曜日を設定)

01:一度

02:毎日

03:月~金

04:月~土

05:土・日

06:毎週日曜日に

07:毎週月曜日に

08:毎週火曜日に

09:毎週水曜日に

0A:毎週木曜日に

0B:毎週金曜日に

0C:毎週土曜日に

データ2 00~17:00~23時間

データ3 00~38:00~59分

* オフタイムスケジュールリストの読み取りまたは削除を行うには、[データ2] [データ3]をFFHに設定する必要があります。

例1: fe 01 f1 ff ff オフタイマーの最初のインデックスデータを読み取ります。

例2: fe 01 e1 ff ff オフタイマーから最初のインデックスデータを削除します。

例3: fe 01 04 02 03 月曜日から土曜日にオフタイマーを02:03に設定します。

* この機能は、時間1(年/月/日)および時間2(時間/分/秒)が設定されている場合にのみ使用できます。

アクノリジメント

(e)(IDの設定)(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

21. [オンタイマー] (繰り返し/時間) (コマンド:fd)

オンタイマー (繰り返し/時間) 設定を構成します。

放送

(f)(d)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)() (データ3)(Cr)

データ1

1. f1h~f7h (データの読み取り)

F1:1番目のオンタイマーデータを読み取ります

F2:2番目のオンタイマーデータを読み取ります。

F3:3番目のオンタイマーデータを読み取ります。

F4:4番目のオンタイマーデータを読み取ります。

F5:5番目のオンタイマーデータを読み取ります。

F6:6番目のオンタイマーデータを読み取ります。

F7:7番目のオンタイマーデータを読み取ります。

2. e1h~e7h (1つのインデックスを削除)、e0h (すべてのインデックスを削除)

E0:すべてのオンタイマー設定を消去します

E1:1番目のオンタイマー設定を消去します

E2:2番目のオンタイマー設定を消去します

E3:3番目のオンタイマー設定を消去します

E4:4番目のオンタイマー設定を消去します

E5:5番目のオンタイマー設定を消去します

E6:6番目のオンタイマー設定を消去します

E7:7番目のオンタイマー設定を消去します

3. 01h~0Ch (オンタイマーの曜日を設定)

01:一度

02:毎日

03:月~金

04:月~土

05:土・日

06:毎週日曜日に

07:毎週月曜日に

08:毎週火曜日に

09:毎週水曜日に

0A:毎週木曜日に

0B:毎週金曜日に

0C:毎週土曜日に

データ2 00~17:00~23時間

データ3 00~38:00~59分

* オンタイムスケジュールリストを読み取りまたは削除するには、[データ2] [データ3]をFFに設定する必要があります。

例1: fd 01 f1 ff ff-On Timerから最初のインデックスデータを読み取ります。

例2: fd 01 e1 ff ff-On Timerから最初のインデックスデータを削除します。

例3: fd 01 04 02 03-月曜日から土曜日にオンタイマーを02:03に設定します。

* この機能は、時間1 (年/月/日) および時間2 (時間/分/秒) が設定されている場合にのみ使用できます。

* この機能は、通常22の後のみ機能します。オンタイマー入力が入力されました。

アクノリジメント

(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

22. [オンタイマー入力] (コマンド:fu)

現在のオンタイム設定の外部入力を選択し、新しいスケジュールを追加します。

放送

(f)(u)() (IDの設定)() (データ1)(Cr)

(f)(u)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)(Cr)

データ (スケジュールの追加)

40:成分

60:RGB

70:DVI-D

A0:HDMI1

A1:HDMI2 / OPS

A2:OPS / HDMI3 / DVI-D

A5:OPS / DVI-D

A6:HDMI3 / DVI-D

A8:OPS

D0:ディスプレイポート

データ1 (スケジュールを読む)

1. f1h~f7h (データの読み取り)

F1:最初のスケジュール入力を選択します

F2:2番目のスケジュール入力を選択します

F3:3番目のスケジュール入力を選択します

F4:4番目のスケジュール入力を選択します

F5:5番目のスケジュール入力を選択します

F6:6番目のスケジュール入力を選択します

F7:7番目のスケジュール入力を選択します

データ2 (読み取りスケジュール)

FF

* スケジュール入力を読み取るには、[データ2]にFFを入力します。

スケジュールデータを読み取ろうとするとときに[データ1]のスケジュールが利用できない場合、テキスト「NG」が表示され、操作は失敗します。

例1: fu 01 90-各スケジュール入力を1行下に移動し、最初のスケジュール入力をHDMIモードで保存します。

例2: fu 01 f1 ff-最初のスケジュール入力を読み取ります。

* この機能は、時刻1 (年/月/日) と時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合にのみ使用可能です。

* この機能は最終入力として動作します。

* 転送中は、PC形式またはDTV形式での入力が可能で、確認のための出力はPC形式が可能です。

(例えばHDMI1では、0x90および0xAの両方を入力でき、0xA0が確認用に印刷されます。)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

アクノリジメント

(u)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(x)

(u)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(x)

23. [信号オフなし](15分) (コマンド:f g)

15分間信号がない場合にモニターが自動スタンバイモードに移行します。

放送

(f)(g)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(g)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

24. [自動電源オフ](4時間) (コマンド:m n)

4時間後に自動電源オフに入るようにモニターを設定します。

放送

(m)(n)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:4時間

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

25. [言語設定] (コマンド:f i)

OSD言語を設定します。

放送

(f)(i)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:チェコ語

01:デンマーク語

02:ドイツ人

03:英語

04:スペイン語 (ヨーロッパ)

05:ギリシャ語

06:フランス語

07:イタリア語

08:オランダの

09:ノルウェー語

0A:ポルトガル語

0B:ポルトガル語 (ブラジル)

0C:ロシア

0D:フィンランド語

0E:スウェーデンの

0F:韓国語

10:中国語 (標準語)

11:日本人

12:中国語 (広東語)

13:アラビア語

アクノリッジメント

(i)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

26. [リセット](コマンド:f k)

リセット機能を実行します。

スクリーンリセットは、RGB入力モードでのみ実行できます。

放送

(f)(k)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:画像リセット

01:画面のリセット

02:初期設定

アクノリッジメント

(k)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

27. [現在の温度](コマンド:d n)

内部温度を確認します。

放送

(d)(n)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF:状態を確認する

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* 温度は16進値として表示されます。

28. [キー](コマンド:m c)

IRリモートキーコードを送信します。

放送

(m)(c)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ IR_KEY_CODE

アクノリッジメント

(c)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* キーコードについては、「IRコード」を参照してください。

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

29. [経過時間](コマンド:d l)

経過時間を確認します。

放送

(d)(l)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF:ステータスを読む

アクノリッジメント

(l)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* 受信したデータは16進値として表示されます。

30. [製品シリアル番号](コマンド:f y)

製品のシリアル番号を確認します。

放送

(f)(y)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF:製品のシリアル番号を確認する

アクノリッジメント

(y)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* データはASCIIコードです。

31. [ソフトウェアバージョン](コマンド:f z)

製品のソフトウェアバージョンを確認します。

放送

(f)(z)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF:ソフトウェアのバージョンを確認する

アクノリッジメント

(z)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

32. [ホワイトバランス赤ゲイン](コマンド:j m)

ホワイトバランスの赤のゲイン値を調整します。

放送

(j)(m)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~FE: 赤ゲイン0から254

FF: 赤いゲイン値を確認します

アクノリッジメント

(m)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

33. [ホワイトバランスグリーンゲイン](コマンド:j n)

ホワイトバランスの緑のゲイン値を調整します。

放送

(j)(n)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~FE: グリーンゲイン0~254

FF: 緑のゲイン値を確認します

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

34. [ホワイトバランスブルーゲイン](コマンド:j o)

ホワイトバランスのブルーゲイン値を調整します。

放送

(j)(o)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~FE: ブルーゲイン0~254

FF: 青のゲイン値を確認します

アクノリッジメント

(o)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

35. [ホワイトバランス赤オフセット](コマンド:s x)

ホワイトバランスの赤のオフセット値を調整します。

放送

(s)(x)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~7F: 赤オフセット0から127

FF: 赤のオフセット値を確認します

アクノリッジメント

(x)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

36. [ホワイトバランスグリーンオフセット](コマンド:s y)

ホワイトバランスの緑のオフセット値を調整します。

放送

(s)(y)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~7F: 緑オフセット0~127

FF: 緑のオフセット値を確認します

アクノリッジメント

(y)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

37. [ホワイトバランスブルーオフセット](コマンド:s z)

ホワイトバランスのブルーオフセット値を調整します。

放送

(s)(z)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~7F: 青オフセット0から127

FF: 青のオフセット値を確認します

アクノリッジメント

(z)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

38. [バックライト](コマンド:m g)

バックライトの明るさを調整します。

放送

(m)(g)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~64: バックライト0~100

アクノリッジメント

(g)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

39. [映像オフ](コマンド:k d)

画面をオンまたはオフにします。

放送

(k)(d)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: 画面をオンにします

01: 画面をオフにします

アクノリッジメント

(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

* デュアルスクリーンモデルでは、88のscreen offコマンドを使用する必要があります。デュアルスクリーンオフ。

40. [タイルモード](コマンド:d d)

タイルモードを設定し、タイルの行と列の値を設定します。

放送

(d)(d)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00~FF: 最初のバイト-タイル列

2番目のバイト-タイル行

* 00、01、10、11はタイルモードがオフであることを意味しています。

* モデルによっては最大値は異なります。

アクノリッジメント

(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

41. [タイルモードの確認](コマンド:d z)

タイルモードを確認します。

放送

(d)(z)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF: タイルモードを確認します。

アクノリッジメント

(z)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

データ1 00: オフ (タイルモードがオフ)

01: オン (タイルモードがオン)

データ2 00~0F: タイル列

データ3 00~0F: タイル行

* モデルによってはサポートされない場合があります。

42. [タイルID](コマンド:d i)

製品のタイルID値を設定します。

放送

(d)(i)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 01~E1: タイルID 1から225 **

FF: タイルIDを確認します

* データ値は行 x 列の値を超えることはできません。

アクノリッジメント

(i)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* 行x列の値を超えるデータ値が入力されると(0xFFを除く)、ACKはNGになります。

* モデルによってはサポートされない場合があります。

43. [ナチュラルモード] (タイトルモード) (コマンド:d j)

画像を自然に表示する場合、通常はモニター間のギャップに表示される画像の部分は省略されます。

放送

(d)(j)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(j)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

44. [DPM選択] (コマンド:f j)

DPM (電源管理の表示) 機能を設定します。

放送

(f)(j)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:5秒

02:10秒

03:15秒

04:1分

05:3分

06:5分

07:10分

アクノリッジメント

(j)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

46. [パワーオン遅延] (コマンド:f h)

電源投入時のスケジュール遅延を設定します。(単位:秒)。

放送

(f)(h)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ00~FA: 分0から最大250 (秒)

* モデルによって最大値は異なります。

アクノリッジメント

(h)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

47. [フェイルオーバー選択] (コマンド:m i)

自動切り替えの入力モードを選択します。

放送

(m)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:自動

02:手動

アクノリッジメント

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

45. [リモートコントロール] / [ローカルキーロック] (コマンド:k m)

リモコン/ローカルキー (前面) ロックを調整します。

放送

(k)(m)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ (ロックオフ)

01:オン (ロックオン)

* モニターがオフの場合は、オン(01) モードでも電源キーが機能します。

アクノリッジメント

(m)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

48. [フェイルオーバー入力選択](コマンド:m j)

自動切り替えの入力ソースを選択します。

- * このコマンドは、フェイルオーバー (自動) モードがカスタムに設定されている場合にのみ使用できます。

放送

(m)(j)(IDの設定)(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)...(データN)(Cr)

データ1～N-1 (入力優先度: 1～N-1)

40: 成分
60: RGB
70: DVI-D
90: HDMI1
91: HDMI2 / OPS
92: OPS / HDMI3 / DVI-D
95: OPS / DVI-D
96: HDMI3 / DVI-D
98: OPS
C0: ディスプレイポート

データN: E0: 内部メモリ

E1: USB
E2: SDカード

アクノリジメント

(j)(SetID)(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)...(データN)(x)

- * モデルによっては、一部の入力信号がサポートされていない場合があります。
- * モデルによってデータ番号 (N) は異なります。(データ番号はサポートされている入力信号数によって異なります。)
- * データN (E0, E1, E2など) の値のみ最終データ値として使用でき、サポートされていないモデルもあります。
- * この機能は最終入力として動作し、DTV形式のデータをサポートします。

49. [Ir操作](コマンド:t p)

製品のIr操作設定を構成します。

放送

(t)(p)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00: すべてのキーをロックオフします
01: 電源キーを除くすべてのキーをロックします
02: すべてのキーをロックします

アクノリジメント

(x)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

- * モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

50. [ローカルキー操作](コマンド:t o)

製品のローカルキーの操作を設定します。

放送

(t)(o)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00: すべてのキーをロックオフします
01: 電源キーを除くすべてのキーをロックします
02: すべてのキーをロックします

アクノリジメント

(o)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

- * モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

51. [Status](コマンド:s v)

製品の現在の信号状態を確認します。

放送

(s)(v)(IDの設定)(データ)(FF)(Cr)

データ 02: 信号の有無を確認
03: PMモードを確認します。
07: 上部、下部、メインの温度センサーが正しく動作しているかどうかを確認します。
09: ファン速度
10: RGB感知OK/NG (画面の確認)
13: ドアの状態
15: 現在の電流値の確認
16: 湿度
17: 照度
18: 回転 (ジャイロ) の状態

アクノリジメント

(v)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(データ1)(x)

データ 02
(信号が見つかった場合)
データ1 00: 信号なし
01: 信号がありません

データ 03
(PMモードの確認時)

データ1 00: PMモードが画面オンに設定されています
01: PMモードが画面オフに設定されています
02: PMモードが常時画面オフに設定されています
03: 画面サイズの維持モードです。
04: 画面オフおよびバックライトの状態 (屋外モード)

データ 07
(上部、下部、メインの温度センサーが正しく動作しているかどうかを確認する場合)

データ1 00: すべての温度センサーが誤動作しています。
01: 上部正常、下部誤動作、メイン誤動作
02: 上部誤動作、下部正常、メイン誤動作
03: 上部正常、下部正常、メイン誤動作
04: 上部誤動作、下部誤動作、メイン正常
05: 上部正常、下部誤動作、メイン正常
06: 上部誤動作、下部正常、メイン正常
07: すべての温度センサーが正常

- * 4番目の温度センサーが誤動作の発生を判定します (上部誤動作も含む)。

データ 10 (画面の確認)
データ1 00: 画面確認の結果NG
07: 画面確認の結果OK

* 画面確認がオフに設定されているとき、またはサポートされないときNGに設定します。

データ 13 (ドアの状態の確認用)
データ1 確認するドアの番号
データ2 00: 閉
01: 開

データ 15
(現在の電流値を確認するとき)
データ1 現在の電流値 (mA単位)

データ 16 (湿度の確認用)
データ1 現在の湿度 (%RH) を16進数値で表示

データ 17 (照度の確認用)
データ1 現在の照度 (ルクス) を16進数値で表示

データ 18 (回転(ジャイロ)の状態の確認用)
データ1 00: 0度
01: 90度
02: 180度
03: 270度

データ 09
(ファン速度の場合)

アクノリッジメント
(v)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(データ1)(データ2)(x)
データ1 00-ff: ファン速度の上位1バイト
データ2 00-ff: ファン速度の下位1バイト
ファン速度: 0~2008 (16進) および0~8200 (10進)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

52. [画面の確認](コマンド:t z)

チェック画面を設定します。

放送
(t)(z)() (IDの設定)() (データ)(Cr)
データ 00: オフ
01: オン

アクノリッジメント
(z)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

53. [スピーカー](コマンド:d v)

スピーカー機能を設定します。

放送
(d)(v)() (IDの設定)() (データ)(Cr)
データ 00: オフ
01: オン

アクノリッジメント
(v)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

54. [サマータイム](コマンド:s d)

夏時間機能を設定します。

放送
(s)(d)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)() (データ3)()
(データ4)() (データ5)(Cr)
データ 00: オフ (データ2~5: FFH)
01: 始まる時間
02: 終了時間

データ2 01~0C: 1月から12月
データ3 01~06: 1~6週目

* [データ3]の最大数は、日付によって異なります。

データ4 00~06 (日~土)
データ5 00~17: 00~23時間

* 開始時間/終了時間を読み取るには、[データ2]~[データ5]にFFHを入力します。

(例1: sd 01 01 ff ff ff ff-開始時間を確認するには)

(例2: sd 01 02 ff ff ff ff-終了時間を確認するには)

* この機能は、1 (年/月/日) および2 (時間/分/秒) が設定されている場合にのみサポートされます。

アクノリッジメント
(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)
(データ4)(データ5)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

55. [Pmモード] (コマンド:s n, 0c)

目的のPMモードオプションを選択します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (0c)() (データ)(Cr)

データ 00:電源オフモードを設定します。

01:サステインアスベクト比モードを設定します。

02:画面オフモードを設定します。

03:画面を常にオフモードに設定します。

04:画面オフとバックライトモードを設定します(屋外モード)

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(0c)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

56. [ISMメソッド] (コマンド:jp)

[ISMメソッド]オプションを選択します。

放送

(j)(p)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 01:反転

02:オービター

04:ホワイトウォッシュ

08:普通

20:カラーウォッシュ

80:洗濯バー

90:ユーザー画像

91:ユーザー動画

* jpコマンドは、タイマーが即時に設定されている場合に機能します。

アクノリッジメント

(p)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

57. [ネットワーク設定] (コマンド:s n, 80または81または82)

ネットワークとDNSの設定を行います。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)() (データ3)() (データ4)() (データ5)(Cr)

データ1 80:一時IPモード(自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを設定/表示。

81:一時DNSアドレスを設定/表示。

82:現在のネットワークの一時設定と表示を保存。

* データ1が80の場合、

データ2 00:自動

01:手動

FF:一時IPモード(自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを表示。

** データ2が01(手動)の場合、

データ3:手動IPアドレス

データ4:サブネットマスクアドレス

データ5:ゲートウェイアドレス

* データ1が81の場合、

データ2:DNSアドレス

FF:一時的なDNSアドレスを表示します。

* データ1が82の場合、

データ2 80:一時的に保存されたIPモード(自動/手動)、サブネットマスク、およびゲートウェイを適用します。

81:一時DNSアドレスを適用します。

FF:現在のネットワークに関する情報(IP、サブネットゲートウェイ、DNS)

***設定の例

1.自動:s n 01 80 00

2.手動:s n 01 80 01 010177223241 255255254000
010177222001 (IP:10.177.223.241、サブネット:255.255.254.0、ゲートウェイ:10.177.222.1)

3.ネットワーク読み取り:s n 01 80 ff

4.DNS設定:s n 01 81 156147035018 (DNS:156.147.35.18)

5.設定の適用:s n 01 82 80 (保存されたIPモード(自動/手動)、サブネットマスク、およびゲートウェイを適用) s n 01 82 81 (保存されたDSNを適用)

* 各IPアドレスは12進数で構成されます。

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

* この機能は有線ネットワークでのみ使用できます。

58. [自動調整](コマンド:j u)

自動的に映像の位置と揺れを修正します (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

放送

(j)(u)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 01:実行

アクノリッジメント

(u)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

59. [水平位置](コマンド:f q)

画面の水平位置を調整します。この機能は、タイルモードがオフに設定されている場合にのみ機能します。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

放送

(f)(q)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64: 最小-50 (左) から最大50 (右)

アクノリッジメント

(q)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

60. [垂直位置](コマンド:f r)

画面の垂直位置を調整します。この機能は、タイルモードがオフに設定されている場合にのみ機能します。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

放送

(f)(r)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64: 最小-50 (ダウン) から最大50 (アップ)

アクノリッジメント

(r)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

61. [水平サイズ](コマンド:f s)

画面の水平サイズを調整します。この機能は、タイルモードがオフに設定されている場合にのみ機能します。

* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります (RGB - PC入力モードでのみ動作します)。

放送

(f)(s)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64: 最小-50 (小) から最大50 (大)

アクノリッジメント

(s)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

62. [パワーオンステータス](コマンド:t r)

必要な電源オンステータスオプションを選択します。

放送

(t)(r)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:LST (以前のステータスのまま)

01:STD (電源がオフの状態)

02:PWR (電源がオンの状態)

アクノリッジメント

(r)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

63. [Wake On LAN](コマンド:f w)

目的のWake On LANオプションを選択します。

放送

(f)(w)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(w)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

64. [インテリジェントオート](コマンド:t i)

目的のインテリジェント自動オプションを選択します。

放送

(t)(i)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(i)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

65. [OSD縦モード](コマンド:t h)

目的のポートレートモードオプションを選択します。

放送

(t)(h)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:90度

02:270度

03:180度

アクノリッジメント

(h)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

66. [初期化](コマンド:t n)

初期設定へのリセットを有効/無効にします。

放送

(t)(n)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:設定を無効にします

01:設定を有効にします

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

67. [時刻同期](コマンド:s n, 16)

時刻同期を構成します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (1)(6)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

* この機能は、マスターモードで動作します。

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)() (1)(6)() (データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

68. [コンテンツの同期](コマンド:t g)

コンテンツ同期を構成します。

放送

(t)(g)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(g)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* モデルによってはサポートされない場合があります。

69. [ピボットモード](コマンド:t a)

ピボットモードをオン/オフに設定します。

放送

(t)(a)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(a)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

70. [Studio Mode] (コマンド:s n, 83)

スタジオモードをオン/オフに設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(3)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(3)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

73. [DPMウェイクアップコントロール] (コマンド:s n, 0b)

DPMウェイクアップ制御モードを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(0)(b)()(データ)(Cr)

データ 00:クロック

01:時計+データ

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(0)(b)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

71. [LANデジチェーン] (コマンド:s n, 84)

LANデジチェーンをオン/オフに設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(4)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(4)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

74. [スキャンの反転] (コマンド:s n, 87)

スキャン反転をオン/オフに設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(7)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(7)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

72. [コンテンツの回転] (コマンド:s n, 85)

コンテンツの回転をオン/オフに設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(5)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:90度

02:270度

03:180度

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(5)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

75. [ビーコン] (コマンド:s n, 88)

ビーコンをオン/オフに設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(8)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(8)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

76. [アスペクト比(回転)](コマンド:s n,89)

アスペクト比(回転)画面を制御します。

(このコマンドは、コンテンツの回転がオンの場合にのみ機能します。)

放送

(s)(n)(IDの設定)(8)(9)(データ)(Cr)

データ 00: いっぱい
01: オリジナル

アクノリジジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(8)(9)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

77. [簡易輝度調整モード](コマンド:s m)

Easy Brightness Control Modeをオンまたはオフにするかどうかを選択します。

放送

(s)(m)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ 00: 簡単な明るさ制御オフ
01: 簡単な明るさ制御オン

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

アクノリジジメント

(m)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

78. [簡易輝度調整スケジュール](コマンド:s s)

Easy Brightness Controlスケジュールを設定します。

放送

(s)(s)(IDの設定)(データ1)(データ2)(データ3)(Cr)

データ1

1.F1～F6(データの読み取り)

F1: Easy Brightness Controlから最初のデータを読み取ります

F2: Easy Brightness Controlから2番目のデータを読み取ります

F3: Easy Brightness Controlから3番目のデータを読み取ります

F4: Easy Brightness Controlから4番目のデータを読み取ります

F5: Easy Brightness Controlから5番目のデータを読み取ります

F6: Easy Brightness Controlから6番目のデータを読み取ります

2.FF: 保存されているすべてのリストを読み取り

3. e1～e6(1つのインデックスを削除); e0(すべてのインデックスを削除)

E0: Easy Brightness Controlをすべて削除します。

E1: 1番目の簡易輝度調整を削除します。

E2: 2番目の簡易輝度調整を削除します。

E3: 3番目の簡易輝度調整を削除します。

E4: 4番目の簡易輝度調整を削除します。

E5: 5番目の簡易輝度調整を削除します。

E6: 6番目の簡易輝度調整を削除します。

4.00～17:00時から23時

データ2 00～3B: 00分から59分

データ3 00～64: バックライト、0～100

* 設定済みのEasy Brightness Controlリストを読み取りまたは削除する場合は、[データ2][データ3]をFFに設定します。

* 設定されたすべてのEasy Brightness ControlリストをFFからインポートする場合は、[データ2][データ3]に値を入力しないでください。

* 設定されたすべてのEasy Brightness ControlリストがFFを介してインポートされると、保存されたリストがなくてもOKが確認されます。

例1: ss 01 f1 ff ff-Easy Brightness Controlから最初のインデックスデータを読み取ります。

例2: ss 01 ff ff-Easy Brightness Controlからすべてのインデックスデータを読み取ります。

例3: ss 01 e1 ff ff-Easy Brightness Controlから最初のインデックスデータを削除します。

例4: ss 01 07 1E 46-時刻が07:30でバックライトが70のスケジュールを追加します。

アクノリジジメント

(s)(IDの設定)(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

79. [マルチスクリーンモードと入力](コマンド:x c)

マルチスクリーンモードと入力を保存または制御します。

放送

(x)(c)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)() (データ3)() (データ4)() (データ5)() (Cr)

データ1 (マルチスクリーンモードを設定)

10: PIP

22: PBP2

23: PBP3

24: PBP4

データ2 (マルチ画面メイン入力を設定)

データ3 (マルチ画面サブ1入力を設定)

データ4 (マルチ画面サブ2入力を設定)

データ5 (マルチ画面サブ3入力を設定)

20: AV

40: 成分

60: RGB

80: DVI-D

90: HDMI1

91: HDMI2 / OPS

92: OPS / HDMI3 / DVI-D

95: OPS / DVI-D

96: HDMI3 / DVI-D

98: OPS

C0: ディスプレイポート

アクノリッジメント

(c)() (IDの設定)() (OK/NG)() (データ1)(データ2)(データ3)

(データ4)(データ5)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

* そのモデルがサポートしている入力モードのみが動作します。

* この機能は最終入力として動作し、DTV形式のデータをサポートします。

81. [スクリーンミュート](マルチスクリーン) (コマンド:x e)

MultiScreenの各画面のオン/オフを切り替えます。

放送

(x)(e)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)(Cr)

データ1 01: メイン入力を制御します

02: サブ1入力をコントロール

03: サブ2入力をコントロール

04: サブ3入力をコントロール

データ2 00: 画面をオンにします。

01: 画面をオフにします。

* この機能は、マルチスクリーンアプリの実行中に機能します。

* 信号がない場合、この機能は正常に動作しない場合があります。

アクノリッジメント

(e)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

82. [常に画面をオフ](コマンド:s n, 0d)

Screen Offは、PM Modeの設定に関係なく、常にScreen Offメニューに入ると同じ効果があります。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (0)(d)() (データ)(Cr)

データ 00: オフ

01: オン

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(0)(d)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

80. [画面サイズ](マルチスクリーン) (コマンド:x d)

アスペクト比(マルチスクリーン) 画面を保存または制御します。

放送

(x)(d)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)(Cr)

データ1 01: メイン入力を制御します

02: サブ1入力をコントロール

03: サブ2入力をコントロール

04: サブ3入力をコントロール

データ2 00: いっぱい

01: オリジナル

アクノリッジメント

(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

83. [スクリーンビデオフリーズ](コマンド:k x)

ビデオフリーズ機能のオン/オフを切り替えます。

放送

(k)(x)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: フリーズ機能をオンにします。

01: フリーズ機能をオフにします。

* シングル入力モードで利用可能。

アクノリッジメント

(x)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

84. [ワイヤレスウェイクオンLAN] (コマンド:s n, 90)

ワイヤレスウェイクオンLANを設定します。

放送

(s)(n)(IDの設定)(9)(0)(データ)(Cr)

データ 00:オフ
01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(9)(0)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

85. [JustScan Toggle] (コマンド:s n, 91)

JustScanを設定します。

放送

(s)(n)(IDの設定)(9)(1)(データ)(Cr)

データ 00:オフ
01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(9)(1)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

86. [休日スケジュールモード] (コマンド:s n, 1a)

休日スケジュールモードをオンまたはオフにします。

放送

(s)(n)(IDの設定)(1)(a)(データ)(Cr)

データ 00:休日スケジュールオフ
01:休日スケジュール

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

* モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(1)(a)(データ)(x)

87. [休日スケジュール] (コマンド:s n, 1b)

休日のスケジュールを設定します。

放送

(s)(n)(IDの設定)(1)(1)(a)

(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)(Cr)

データ1

1. f1~f7 (データ読み取り回数)

f1: 第1休日スケジュールのデータを読み取ります

f2: 第2休日スケジュールのデータを読み取ります

f3: 第3休日スケジュールのデータを読み取ります

f4: 第4休日スケジュールのデータを読み取ります

f5: 第5休日スケジュールのデータを読み取ります

f6: 第6休日スケジュールのデータを読み取ります

f7: 第7休日スケジュールのデータを読み取ります

2.FF: 保存されているすべてのリストを読み取り

3. e1~e7 (1つのインデックスを削除)、e0 (すべてのインデックスを削除)

e0: すべての休日スケジュールを削除します

e1: 第1休日スケジュールを削除します

e2: 第2休日スケジュールを削除します

e3: 第3休日スケジュールを削除します

e4: 第4休日スケジュールを削除します

e5: 第5休日スケジュールを削除します

e6: 第6休日スケジュールを削除します

e7: 第7休日スケジュールを削除します

4.01~0c: 月01から12 (開始月)

データ2 01~1F: 01日から31日目 (開始日)

データ3 01~0c: 月01~12 (月末)

データ4 01~1F: 01日から31日 (終了日)

* 設定済みの休日スケジュールリストを読み取りまたは削除する場合は、[データ2] [データ3] [データ4]をFFに設定します。

* 構成されたすべての休日スケジュールリストを読み取る場合、[データ1] [データ2] [データ3] [データ4]をFFに設定します。

例1: sn 01 1b f1 ff ff ff - 休日スケジュールの最初のインデックスデータを読み取ります。

例2: sn 01 1b ff ff ff ff - 休日スケジュールのすべてのインデックスデータを読み取ります。

例3: sn 01 1b e1 ff ff ff - 休日スケジュールの最初のインデックスデータを削除します。

例4: sn 01 1b 01 07 0c 18 - 1月7日から12月24日までの休日スケジュールを追加します。

* 事前に設定されたスケジュールは追加されません。

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

* モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。

アクノリッジメント

(s)(IDの設定)(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

88. [デュアルスクリーンオフ](コマンド:s n, 92)

デュアルスクリーンをオンまたはオフにします。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (9)(2)() (データ)(Cr)

データ 00:メイン画面-オン/サブ画面-オン
01:メイン画面-オフ/サブ画面-オン
02:メイン画面-オン/サブ画面-オフ

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(9)(2)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

89. [ファン制御](コマンド:d o)

ファンモードを設定します。

放送

(d)(o)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:自動
01:オン
02:手動
03:オフ

アクノリッジメント

(o)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

90. [ファン障害チェック](コマンド:d w)

ファンの故障をチェックします。

放送

(d)(w)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ FF:ステータスを読む

アクノリッジメント

(w)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(x)

データ1 00:1つ以上のファンに障害があります。
01:すべてのファンは正常です。
02:モデルにはファンがありません。
データ2 00:障害のあるファンはありません(すべてのファンは正常です)。
01:1つのファンに障害があります。
02:2つのファンに障害があります。
03:3つのファンに障害があります。
04:4つのファンに障害があります。
05:5つのファンに障害があります。
06:6つのファンに障害があります。
07:7つのファンに障害があります。
08:8つのファンに障害があります。
09:9つのファンに障害があります。
0A:10個のファンに障害があります。
...
N: Nダウン

91. [輝度値読み取り](コマンド:m u)

輝度値を読み取ります。

放送

(m)(u)() (IDの設定)() (FF)(Cr)

アクノリッジメント

(u)() (SetID)() (OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)

(データ4)(データ5)(データ6)(データ7)(x)

データ1 00-64:バックライトPWM値(0~100)
データ2 00-ff: CA210によって測定された値の上位1バイト。
データ3 00-ff: CA210によって測定された値の下部1バイト。
CA210測定値0000~ffff(16進) および0~65535(10進)
データ4 00-ff: BLU 1センサーによって測定された値の上位1バイト。
データ5 00-ff: BLU 1センサーによって測定された値の下部1バイト。
データ6 00-ff: BLU 2センサーによって測定された値の上位1バイト。
データ7 00-ff: BLU 2センサーによって測定された値の下部1バイト。

BLU測定:0000~ffff(16進) および0~65535(10進)

* 最終組立中に、CA210の測定値が校正手順を通じて入力されます。キャリブレーション前のデフォルト値は0です。

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

92. [BLUメンテナンス](コマンド:m t)

BLUメンテナンスをオンまたはオフにするかどうかを選択します。

放送

(m)(t)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00:BLUメンテナンスオフ
01:BLUメンテナンスオン

アクノリッジメント

(t)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

93. [電源インジケータ](コマンド:f o)

電源インジケータ設定を設定します。

放送

(f)(o)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクリジジメント

(o)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* これは、一部のモデルではサポートされない場合があります。

94. [OSDディスプレイ](コマンド:k l)

目的のOSD表示オプションを選択します。

放送

(k)(l)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00:いいえ(オフ)

01:はい(オン)

アクリジジメント

(l)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

95. [半透明の明るさ](コマンド:s n, 95)

半透明モードのLEDの明るさを調節します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(5)()(データ)(Cr)

データ 00~64: LED輝度0~100

アクリジジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(5)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

96. [ハイブリッドモード](コマンド:s n, 96c)

ディスプレイの透明モードを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(6)()(データ)(Cr)

データ 00:ハイブリッド(効果:Off)

01:ハイブリッド(効果:フルホワイト)

02:半透明

アクリジジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(6)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

97. [復帰間隔](コマンド:s n, 97)

透明モードの時間の長さの調節です。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(7)()(データ)(Cr)

データ 00~0a: 0~10に維持される時間

アクリジジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(7)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

98. [プロキシミティ感度](コマンド:s n, 98)

プロキシミティセンサーの感度を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(8)()(データ)(Cr)

データ 00:高い

01:半ば

02:低い

アクリジジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(8)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

99. [HDMI Itコンテンツ] (コマンド:s n, 99)

HDMIデータを使用して、映像モードを自動で設定します。

放送

(s)(n)(IDの設定)(9)(9)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(9)(9)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

102. [信号画像なし] (コマンド:s n, a9)

ノースIGNALイメージのオンとオフを切り替えます。

放送

(s)(n)(IDの設定)(a)(9)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(a)(9)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

100. [UPnPモード] (コマンド:s n, 9c)

目的のUPnPモードを設定します。

放送

(s)(n)(IDの設定)(9)(c)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(9)(c)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

* UPnPモードが変更されると、再起動が行われます。

103. Wi-Fi (コマンド:s n, 9f)

Wi-Fiをセットアップします。

放送

(s)(n)(IDの設定)(9)(f)(データ)(Cr)

データ 00:有効にする

01:無効化

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(9)(f)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

101. [モデル名の確認] (コマンド:f v)

モデル名を確認します。

放送

(f)(v)(IDの設定)(データ)(Cr)

データ FF:製品のシリアル番号を確認する

アクノリッジメント

(v)(IDの設定)(OK/NG)(データ)(x)

* データは16進ASCIIコードです。

104. アナログサイネージBLU設定 (コマンド:s n, c2)

アナログサイネージBLUをセットアップします。

放送

(s)(n)(IDの設定)(c)(2)(データ)(Cr)

データ 00:オフ

01:オン

アクノリッジメント

(n)(IDの設定)(OK/NG)(c)(2)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

105. アナログサイネージBLUオン/オフ時間設定 (コマンド: s n, c3)

アナログサイネージBLUのオン/オフスケジュールを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(c)(3)()(データ1)()(データ2)()(データ3)()(データ4)()(Cr)

データ1電源オンスケジュールの設定 (時間)
00~17:00~23 (時間)

データ2電源投入スケジュールの設定 (分)
00~38:00~59 (分)

データ3電源オフスケジュールの設定 (時間)
00~17:00~23 (時間)

データ4電源オフスケジュールの設定 (分)
00~38:00~59 (分)

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()
(OK/NG)(c)(3)(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

106. BLU手動オン/オフ (コマンド: sn, c4)

BLUのオン/オフを手動で制御します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(c)(4)()(データ)(Cr)
データ 00:オフ
01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(c)(4)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

107. サイレントファンモード (コマンド: s n, c7)

BLUのオン/オフを手動で制御します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(c)(7)()(データ)(Cr)
データ 00:オフ
01:オン

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(c)(7)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルではサポートされない場合があります。

